

1. 委員会を開いた年月日及び場所

平成30年3月9日 午前10時00分開議
小値賀町役場 3階第1会議室

2. 出席した委員の氏名

委員長	土川重佳
副委員長	横山弘藏
委員	宮崎良保
委員	浦英明
委員	末永一郎
委員	松屋治郎
委員	今田光弘

3. 欠席した委員の氏名

なし

4. 出席した委員外議員の氏名

議長 立石隆教

5. 説明のため出席した者

町長	西浩三
副町長	谷良一
教育長	吉元勝信
会計管理者	蛭子晴市
総務課長	前田達也
住民課長	西村久之彦
福祉事務所長	植村敏彦
産業振興課政策監	木下誠子
産業振興課長	中村慶幸
農業委員会事務局長	〃
建設課長	橋本満
教育次長	尾崎孝三
診療所事務長	近藤進

6. 職務のため出席した者

議会事務局長	尾野英昭
議会事務局書記	森知佳

7. 付託を受けた事件の件名

議案第24号 平成30年度小値賀町一般会計予算

委員長（土川重佳） おはようございます。

ただいまから本日の予算特別委員会を開く。

昨日に引き続き、一般会計の歳出から質疑を行う。

今日は、第1款・議会費、第2款・総務費、第8款・消防費、第11款・公債費、第12款・諸支出金、第13款・予備費、第3款・民生費、第4款・衛生費、第7款・土木費、第10款・災害復旧費、第5款・農林水産業費、第6款・商工費、第9款・教育費の順番で、款を追って質疑願う。その後、再度全課長に入室してもらい一般会計予算歳入歳出全般についてご質疑願う。その後、第2表『地方債』についてご質疑願う。

まず、最初に議会費から款を追ってご質疑願う。

第1款・議会費（P.28～） 質疑はないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第2款・総務費（P.29～45）

委員に申し上げる。最初にページを言ってほしい。結構あるので。 **松屋委員**

委員（松屋治郎） 29ページ、2款1項1目2節、二役給が前年より66万減になっているが、その内容について伺う。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） 前年度の予算については、特別職の給与改正を上程しており、それに基づいて予算を計上していたが、否決という形となり、その分が元に戻っているという現状である。

委員長（土川重佳） ほかにないか。総務費、45ページまで。 **今田委員**

委員（今田光弘） 36ページの15節・工事請負費で、塩工場の解体工事というのが出ている。以前できた塩工場で当然建築に係るお金とか、あるいは運営に係るお金とか、かかったと思うが、これを解体するというので、その辺の解体するに至った一連の流れについてご説明願う。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） この塩工場については、平成16年から町のパイロット事業として約2カ年行った後に、一般の方がやりたいということで18年から20年の9月くらいまで、民間の方に貸し出しをしている。その後平成24年くらいから、またやりたいという方が出てこられて、26年までの2年間そこを使用していたが、その後廃業届を出され今は使っていない状況となっている。現状かなり老朽化しており、このままでは危ないということで今回解体をしようという経緯に至った。ただ、中にある釜などについては、担い手公社の研修生が塩づくりをやりたいということなので、そちらを活用し、水産加工場あたりに設置して有効に使ってもらいたいと考えている。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 37ページの8節・報償費のところ、特定有人国境離島地域プロジェ

クト推進アドバイザーというのがあり、これは内閣府からの派遣だと思うが、それに対する謝礼があるとはどういうことか、ご説明願う。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） 委員ご指摘のとおり、これは内閣府からのアドバイザーの謝礼となっている。これについては国のほうから日額いくらかということで決まっており、その分を予算計上している。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） そうなると、派遣は国の事業だと思っていたのだが、こちらで負担しないといけないということか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） 委員の言うとおりである。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 同じく 37 ページ、13 節・委託料の中の、五島列島の島々横断交流拡大・移住プロジェクト業務委託料ということで、説明書をいただいた主要事業一覧の中の 2 番に出ているが、漠然としていて具体的に何をするのか見えない。中身について具体的に説明できる部分についてご説明願う。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） この分については簡単に言うと、上五島航路の増便に係る事業である。これについては、国の地方創生交付金を今相談しているところである。上五島航路というのが、国の補助対象外の航路ということでなかなか参入が難しいという中で、今後世界遺産を見据えた観光客の増を見込んで、ニーズ調査という形で船便を増便していただき、調査を行っていただくということである。これは 3 年を予定している。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） わかった。38 ページの 15 節・工事請負費で、先日も話が出た定住促進用住宅ということで、4 棟と伺っているが、具体的に 4 棟はどこを指すのか教えてほしい。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） 今予定しているのが、斑地区に 2 戸、大浦地区に 1 戸、笛吹地区に 1 戸である。今から調整が入るので変わる可能性があるが、今のところそこを考えている。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） その斑の 2 戸というのは、今、町のホームページの空き家バンクに出ている 2 戸か。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） おっしゃるとおり。今空き家バンクに登録されている分について整備しようと考えている。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） そうなると、今の空き家バンクが 5 棟か 6 棟あるのが 2 棟減るということで、先日の本会議の中での回答で、22 戸くらい貸してくれそうなどころがあるということで、それは順次その減った空き家バンクにどんどん増やしていくということか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） そのような形になると考えている。

また、今、空き家バンクにはまだ登録されていないが、登録してもいいという意向というか、そういう調整をしている物件も数件あり、そちらも調整次第、順次上げさせてもらいたいと思っている。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） わかった。

39 ページに行く。一番上、「日本橋長崎館」。これとの連携事業の旅費は補助が付くということで出ているが、日本橋長崎館との連携事業というのはどういうことを考えているのか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） 日本橋長崎館については、昨年度 28 年度、29 年度、知事要望の中でも要望している事項であり、東京あたりの首都圏の情報発信の場として活用させていただきたいということで取り組んでいる。予定としては、アンテナショップに土曜、日曜、祝日あたりのお客さんが集まる期間に、物産販売、移住相談、観光案内所を設置させていただき、そちらのほうで活動させていただきたいと考えている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 39 ページ。企画の 19 節、一番上の世界遺産登録記念実行委員会補助金 850 万円。これの内容について説明願う。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） いよいよ世界遺産登録が間近になってきたわけだが、30 年度においてはその記念事業を、町民を巻き込んで行っていきたいということを考えている。

そのために実行委員会組織を立ち上げる。要するに各種団体を巻き込んで、実行委員会組織を立ち上げたいと思っている。その中で記念イベント事業も行うということで考えており、そのための補助金として 850 万円。

それから別に町のほうで、昨年に続いて聖歌隊の委託料があり、委託費で 150 万円ほど、合わせて 1,000 万という大きな額になるが、一生に一回あるかないかという大きなイベントであるので、このくらいかけてでもやってみたいと考えている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 今から実行委員会を立ち上げてやるということだが、イベントはどういったことを考えているのか、少しわかるころがあればご説明願う。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） こちらで考えているのが、まずパブリックビューイング。要する

に登録が決定されるときに、会場と中継をつないでそこを町民みんなで見ながら、登録されたときの喜びを分かち合うというようなパブリックビューイングや、聖歌隊が昨年度からいろいろと頑張っておられるので、そのお披露目というか、それに合わせて記念イベントとして著名人や有名な歌手を呼んで、そういうイベントをやったりとか、あとは、記念モニュメントを町民みんなでつくれたらどうかということを考えている。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） その実行委員会の主体というのは、どこを考えているのか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） まだ具体的には考えていないが、以前、旧野首教会の100周年か何かのときに、実行委員会を立ち上げてやったと聞いている。

そのときは確か町長が実行委員長としておられ、それから各種団体長、各種組織をしてやったと聞いているので、そういう形でやれるかどうかも含めて検討していきたい。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 普通のありきたりのイベントをしても、そのときのお祭り騒ぎで終わるかなという気がするが、世界遺産に登録される記念として、後世にずっと伝わるような記念のモニュメントとか、記念樹を植えるとか、やはりずっと後世に残るようなものも考えてみたらどうかと思うのだが、その辺どうだろうか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） 先ほど話した記念モニュメントはそういうことで考えたいと思っているので、あとは実行委員会の中でもいろいろと検討していきたいと思う。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 世界遺産のそもそもの目的というのは、しっかりしたものを後世に残すという意味での世界遺産で、あくまでも観光客が増えるというのは二の次というか、後に付いてくるものなので、僕はモニュメントとか余り立派なものをつくるよりは、保存するためのいろいろな手段をしたほうがいいのかという気がしている。

実際に委員会を検討するというお話だが、今年の6月の末、もしくは7月には世界遺産になる可能性が高いということで、本当にもう今から動かないと間に合わないと思うが、その辺は時間的にどうなのか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） 委員の言うとおりに、取り掛かりが遅かったかなと反省を持っておるところである。早急に動けるような体制づくりは今からでも行っていきたい。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 1つ戻らせていただいて、先ほどの日本橋長崎館であるが、僕が実際に現場に行ったわけではないが、聞くところによると日本橋長崎館、あるいは小値賀町か。そちらに小値賀町に関するパンフレットとか、そういうのを余り置いていないというのを耳にするのだが、その辺については考えているのか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） 関係パンフレット等は、お願いして置いてもらってはいるが、なかなか目につかないところにあるのか、数が足りないのかちょっとわからないが、そのあたりは調査して、できるだけ多くの方に見ていただくような努力をしていきたい。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） あと1つ。45ページ。初歩的な質問で申し訳ないが、選挙費のところ選挙啓発費というのがある。選挙啓発費というのは「みんな選挙に行ってくださいよ」という啓発をする費目だと思うが、これが廃目になっているのは、中身的に違う他の費目に入ることになったのか。それとも必要ないということでゼロにしたのか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） 委員が言うように、この選挙啓発費は「選挙に行ってください」というような形での啓発に関する経費として、そういう大会が毎年県内であり、そういうところに行って参加する旅費等の経費だったが、ご存じのようにうちは投票率も高くなかなかそういう会議の場に行く機会も少なくなってきたもので、その分については今回落とさせていただき廃目という形にはなったのだが、啓発についてはこれまでどおりやっていきたいと考えている。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 来年4月には統一地方選が来て、投票率が高いと言っても、18歳の子供がいたりして選挙の啓発というのはやはり非常に大事なことということで、先ほどのお答えで、引き続きやっていくということだが、費目がなくなったからではなく、しっかりとやっていただきたいと思うが、いかがだろうか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） 町長の施政方針でも言っておられたが、小値賀町民は選挙に対するの意識が大変強いと考えているが、引き続きこちらとしても啓発には力を入れていきたいと思う。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 38ページの企画費。6目の19節・地域おこし企業人事業派遣元企業への負担金240万円。これの具体的な活動内容と実際どういった効果が上がっているのか。そして主要事業一覧では、「交流プログラム事業を活用し、主に空家問題の解決を図る」と書かれているが、この辺の具体的な活動内容とか成果とか、説明をお願いします。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） 地域おこし企業人であるが、一般質問にもあったが、今年度においては、まず空き家調査を行っている。そこで現在の空き家の数、使える軒数、意向調査、そういう所有者に対するアンケート。そういうことを行っている。またそれに基づいて、空き家バンク登録への推進。空き家を使った改修のワークショップというのを行っている。これは、空き家管理の意識を町民の方に持ってもらいたいということで、ある空き家をモ

デルとして、DIY、要するに自分たちで手を加えながら修復していく。安い経費をかけながら修復していくというようなワークショップを行っている。そういうことで、町民の方に「空き家をこういうふうに改修したら、もっと長持ちさせられる。使えるんだ。」という意識付けをしたいということで行っている。あと先進地視察等に行き、そういう知識を勉強している。また30年度については、引き続きそういう調査を行いながら、今度は活用の可能性のある空き家について実際に改修を自分たちで行って、賃貸であるとか、民泊業、そういうことができないかというような実証実験をやりたいと考えている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 三大都市圏に勤務する大企業の社員ということだが、この人材というか、使い道は空き家に限っているのか。

委員長（土川重佳） 町長

町長（西 浩三） これはそこに限っているわけではないが、ご本人の希望もあり、コンサルのほうから来ている。この企業人は、どういう種類というか、招請というわけでもないのだが。この方は会社に在籍をしていて、そっちから給料はもらっている。その差額というわけでもないが、こっちに来る費用として240万円を差し上げるということなので、特にこういうことで研究をしたいということであれば、うちのほうからでもあちこち働きかけはできるのかなと思う。

委員長（土川重佳） 浦委員

委員（浦 英明） その上の工事請負費。2,300万。

先ほど質問があり、また答弁もあったと思うが、この分は設計委託料が300万円だったので、この工事の分なのかを尋ねる。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） 委員の言うとおりの、予定している4件分の委託料である。

委員長（土川重佳） 浦委員

委員（浦 英明） いつも設計委託料から工事費を換算するわけだが、前に町長からも言われたが、一般的にこれに関して割っても、そういうことは割り切れないと言われたのだが、単に割ってみれば、13%くらいになるわけだ。それで少し高いのかなと思ったので聞いた次第である。それと、この工事については約4で割れば $4 \times 6 = 24 \cdots 500$ 万から600万くらいだろうと思うのだが、2階があるところはそのまま放っておいて、工事をしているようなのだが、そのように見受けられたのだが、それを1つ確認したい。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） この工事については、個人の資産をお借りして改修するということもあり、余り多額の改修費用をかけるのもどうかということがあり、1つの目安として大体500万程度というようなある程度の基準をつくって、そちらのほうで対応していきたいと考えている。

委員長（土川重佳） 浦委員

委員（浦 英明） その 2 階のことだが、工事をしないでそのまま伏せているわけであるが、貸している人も 2 階までしてもらったほうがいいのかなど。そうすると 1,000 万くらいかかるのかな。それだけ高くなったら建てたほうがいいということになるかもしれないが、2 階はどういうふうにしているのか。上がれないように伏せているのか。住む人にとってみれば 2 階に上がって海とか山を眺めてみたいとか、そういう希望もあるんでしょうけども、そこら辺はどうなのか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） 改修については、まずは生活できるレベル。最低限の水回りであるとか、居住スペースをきちんと確保した上で、どこを改修するかというのは検討しながらやっている状況である。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 同じ企画の 19 節の中で、「日本で最も美しい村」連合関係会議負担金 20 万。この活動状況について伺う。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） 活動については、今のところ連合会における会議への出席というのがほとんどであり、年間に、総会、担当者による研究会、それから九州ブロックの会議と、この 3 回の会議に出席して情報交換をしているという状況である。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） もう 1 つ、アイランダー事業関係旅費補助 36 万 6,000 円。このアイランダーはずっと毎年行っているように思うのだが、その事業効果というか、それから行っているメンバーの人選はどのように行っているのか説明をお願いします。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） 毎年、アイランダーは行かせていただいているが、私も久しぶりに今年行かせていただいた。もともとこの事業は、離島の情報発信というのが目的で始まっているのだが、今年久しぶりに行かしてもらったが、それがだんだん物産展化しているというか、そっちのほうメインになってきているような気がした。

うちの今年度の予算についても、物産をメインにするのではなく、体験メニュー、いろいろな離島での体験、そういうような体験ブースを設けているところもだんだん増えてきている状況なので、来年 1 年は物産を一旦やめてみて、体験ブースを充実させてみようかと考えている。

人選については、昨年度までは物産をやっていた関係で担い手公社であるとか、そういう物産関係の職員にお願いして行ってもらっていた状況である。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） わかった。

このことで、ある人から一つ耳に挟んだのだが、例えば小値賀町の紹介をするときに、例えば民泊の紹介をするときにでも、ある小値賀の誰か知らないが、特定の民泊の家を紹

介していたと。それがどうも耳障りだったという話を聞いた。

それでやっぱり小値賀町全体の代表として参加するわけであるから、その辺の指導というか、きちんと作戦会議を開いてからやってほしいと思う。よろしく願います。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） そういうことについては、きちんと指導した上で今後取り組んでいく。

委員長（土川重佳） 末永委員

委員（末永一朗） 37 ページの委託料の中で、ふるさと留学受入構築事業というのがあるが、その中身の説明をお願いします。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） ふるさと留学については、平成 26 年からずっと取り組んできているものであるが、平成 29 年においては、ふるさと留学のモニターを実際に応募して実施をしている。今回定員を 2 組予定していたのだが、4 組 8 名の応募があっている。そういうことで、ふるさと留学、要するに離島留学をするに当たってのモニター調査、それから議員様にもお渡ししたが、「おぢかの教育」という小値賀町の教育方針等をまとめたパンフレットの作成。そういうことを行いながら、家族で移住してもらって留学してもらおうというやり方や、または子供さんを受け入れできるような体制づくりを研究しているところである。30 年度については、実際に里親をやりたい方のモニター調査から、実際にやりたいという方の研修、そのあたりの研究を行っていきたいと考えている。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） 同じ 13 節で、先ほど質問があったが、五島列島の島々横断交流拡大・移住促進プロジェクト業務。これについて昨日、私が歳入のところで質問したのだが、後でよく考えたら合わないところがあったのでお尋ねする。

地方創生推進交付金。これは昨日、2 款 1 項 6 目の U・I ターンが 13 万 8,000 円。5 款 3 項 2 目・浜の魅力発信事業 118 万 2,000 円の合計 132 万円になると説明されたが、主要事業一覧で見ると、五島列島の島々横断交流拡大・移住促進プロジェクトが 590 万。それと浜の魅力が 118 万 2,000 円。これを合わせると 708 万 2,000 円となるが、どちらが正しいのか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） 委員の言うとおり、こちらの主要事業のほうでは 590 万というふうに書かせていただいております、実際このようになる見込みではあるが、内示等は来ていない。内々での話ではいただいているのだが、まだ内示が来ていないため申し訳ないが予算計上はしていない。内示が来次第、速やかに補助金のほうに 590 万を計上させていただきたいと考えている。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） 昨日お答えした地方創生交付金の内訳が、浜の魅力発信事業が 118

万 2,000 円。それと U・I ターン促進事業ということで 13 万 8,000 円と言ったと思うが、この 13 万 8,000 円は U・I ターン事業の長崎県の移住サポートセンターにお支払いしている負担金額に充当されており、今回の五島列島のプロジェクトの経費には何も計上されていないということである。

委員長（土川重佳） 町 長

町長（西 浩三） ちょっと補足をさせていただく。主要事業一覧に上げたからややこしくなっているのだと思うが、これは先ほどから課長が説明しているように、内々では 1,180 万か、予算がつきそうなところで、これは予算の締め切りの時間のタイムラグもある。そういうことで、ほぼ確実だろうということで、主要事業に載せたときに落とさずにそのまま載せているということであるので、後で補正をさせていただくということになる。よろしく願います。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

今田委員

委員（今田光弘） 先ほどの企業人のお仕事の中で、空き家調査と言ったが、数年前にたぶん空き家の調査を発注していて、実際調査されていると思うのだが、その成果と今回やった空き家調査というのはリンクしているのか。あるいは前回やった空き家調査というのは何だったのか、ちょっとわからないのであるが、その辺についてご説明願う。

委員長（土川重佳） 町 長

町長（西 浩三） 前回、2 人くらいにお願いして調査しているのだが、今度の調査で違うのは、各地区に行って会長さんから聞き取り調査をして、実際にある空き家を拾い上げたようである。そういうことで 399 だったか。400 に 1 戸切れてるような空き家が見つかったり、この間も言ったが、中に入ることができないため、外から見たところで使えるような家が 100 何戸だというような調査で、少し精密にやっている。そしてこの企業人、ある程度プロであるので、そこら辺で使える数字を今回初めてつかんだというようなことである。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） わかった。せっかく本当に優秀な人材が来ているので、しかも残りマックスでもあと 2 年だと思うのだが、2 年先を見据えたその計画というか、30 年度にやることについては先ほどお答えあったのだが、その次どういうふうな感じに向かっていきたいというのはあるのだろうか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） ご本人のほうから、先々はできれば空き家等を活用した不動産みたいな形で、安く改修費を抑えて、またそれを貸し出すというような形での事業がやっていければと考えているようであるので、民間でそういうことができればぜひ支援していきたいと考えている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 今の質問に関連するが、確かに利用できない空き家が増えている。私

の地区の新町にしても、連絡の取れない空き家とか。そういったことをいちいち役場の行政のほうで細かく分析したり、それからどうするかという問題をするとき、かなり負担になると思う。そういった意味で今の報告にあったように、小値賀町内に管理する不動産会社みたいなのがあればいいなどは常々思っている。勉強して個人でもいいなと思ったりするくらいだ。そのくらい余った不動産がたくさんある。何百坪の家を無料でくれたりとか、私の親戚にもいる。私も隣の25坪ほどの屋敷をいただいた。そういったふうで、不動産の処理に困っている方がたくさんいる。だからそういったところをこの人材を活用して、またその人がそういった意見を出していることを聞いて、おもしろいと思った。これはいい考えだと思うので、どうか前に進めてほしいなと思う。よろしく願います。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） 引き続き応援していきたいと考えている。

委員長（土川重佳） 松屋委員

委員（松屋治郎） 去年は、13節では花嫁対策か。この事業費があったと思うが、今年は取りやめにしたのか。継続すべきと思うが。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） この花嫁対策事業については、30年度の予算としては計上していない。29年度まで、民間の業者にも委託して、そういう取り組みもやってきたのだが、なかなか集まらないというのが1つ。それもあるが、国とか県において同じような取り組みをやっている。なのでそちらと連携しながら、当然、町が何もしないというわけではなく、国・県にもそういう支援の事業があるし、そういうところと連携を取りながらやっていくという意味で予算上は上がっていないが、取り組みは引き続き行っていくということである。

委員長（土川重佳） ほかにないか。総務費、45ページまで。

委員長（土川重佳） 末永委員

委員（末永一朗） 40ページの下の方の、19節・負担金、補助及び交付金のところで、新規事業準備金として350万上がっているが、内容の説明をお願いします。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） 新規事業準備金については、新たに事業を興す方を支援していく経費であるが、30年度においては、今年度より国境離島新法により新規事業で立ち上げた方が数名おられるため、そういう方を見込んで若干多めに予算計上している。7名を予定している。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） 同じ19節で一番下に、まちづくり担い手育成研修費等補助金がある。そしてその上の8節に審議会委員の謝礼というのがあるが、審議会にはどのような人が入っているのか、それから研修費の補助、この内容について尋ねる。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） まず審議会の委員については、商工会の会長さん、農業関係の代表者の方、漁協の関係者の方、それから役場のほうが委員となっている。

それから研修事業については、今年度もちょこちょこ出てきたのだが、農林水産業、要するに特産物とか、農業、漁業、商工業の技術習得のための研修。そういう形での旅費の補助がここ最近増えている。そういうことで、来年についても5件ほど予定している。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） 研修費補助が5件とはどういう意味か。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） 基本的にはこういう研修は1回というか、内容にもよるが同じ内容では2回行けないような形になっているので、研修目的に応じた件数として5回分の旅費補助という形で考えている。5人である。

委員長（土川重佳） ほかにないか。総務費。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第8款・消 防 費 （P.87～89） 浦 委員

委員（浦 英明） 89 ページの一番上、工事請負費。斑の防火水槽整備工事、これが役1,200万。それからその下の新型J-アラート受信整備工事、これが300万だと思うが、この分の内容を尋ねる。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） この斑地区の防火水槽については、先般、斑のほうで火災が続けてあったが、そこで水利の確保が難しかったということがある。地区のほうからもぜひお願いしたいという要望があり、今回つくる防火水槽については、地区のほうからこの場所につくってくれないかということで場所の提供もあり、行うものである。場所については、玉石付近の場所で、ちょうど玉石に上っていくと、集落に入る急な曲がり角があると思うが、あそこの角辺りである。そこは地区の方が直接管理している方に相談して、ぜひ使わせてほしいということで、場所のほうもここでお願いしたいという形で相談があっているところである。

それからJ-アラートについては、今、起動はしているのだが、国のほうから、より性能の高いJ-アラートに更新してほしいという依頼がきている。そういうことで、新型の受信で大幅な時間短縮になるということで、今回新たに更新することになっている。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） 斑の防火水槽は先ほどの説明で場所はわかったが、規模についてお尋ねする。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） 今のところ40トンというふうに考えている。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） その大きさ、例えば何メートルの何メートルとか、深さとか。それを

計算すれば大体わかるので。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） 大きさについては、なかなか縦横長さがあり、岩盤とかの関係で深さも関係してくるので、少し言いにくいところがある。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） 斑は今言ったように、岩盤が多いところであるから、あそこあたりも岩盤が多いのではなかろうかと思うのだが。そこあたりを掘ったりなんかした場合に…その前にこの土地については買収したのか、貸与したのかそういったところも尋ねる。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） 地区の方のご好意で、無償で提供していただくということになっている。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 同じところであるが、19 節・負担金、補助及び交付金のところで、離島消防活動費の補助金ということで 11 万 7,000 円計上されているが、この内容を尋ねる。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） この補助金については、離島地区においては自衛消防ということで、消防団ではないわけである。毎年その活動について、町のほうから補助金をやっている。納島についてが 2 万 7,000 円、大島が 3 万 6,000 円、斑が 5 万 4,000 円、それぞれ補助をしている。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 地元の民間の活動について補助しているということだが、本島においても消防団が高齢化して、なかなか消防等の活動も制約が出てきている状況が見受けられる。昨年は 8 分団と 9 分団が合併し、1 つの大きな分団となった。そこでも特に唐見崎地区においては陸の孤島と言われ、なかなか消防活動をするのに支障があるので、地元の民間の方が毎年 1 回消防訓練を行っている。今年も筒井浦と前方も合わせてやってるという状況であるので、今からこういう状況が出てくると思うのだが、そういった方々にも幾らかの助成というのは考えられないか。

委員長（土川重佳） 町 長

町長（西 浩三） なかなか難しい問題だと思う。

消防団だけで消防業務ができるわけではないので、その根底は一般住民の方の意識等もあり、そういうことで訓練はどちらかというとき皆さんでやっていただくのが一番いいと思う。それと違う作業をしているということであれば、今消防団の報酬とかもやってるわけだが、この訓練自体を町民皆様方の協力を得ながらボランティアでやっていただくのが一番いいんじゃないかというのが今の考えである。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） 18 節の備品購入費。LED 投光器 20 万、これは斑の分なのか、それと

もどこか違うのか、1台なのか。そこあたりの規模もあればお尋ねする。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） 委員の言うとおりに、斑地区の投光器、1台である。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） この照射距離、直射距離というのか、どのくらいかわかるか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） LED ということで、この前の火事でもなかなか照明が足りなかったということがあり、通常消防団で持っている投光器よりも大きい、大型のLED電球を使った大型投光器というふうに考えている。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） 以前私が漁協にいたとき、「はやて」に乗って行っていたのだが、その投光器は約1キロ以上つけられる。だから例えば1キロの地点にいる人たちに照らした場合はまぶしいくらいである。そういうものであったら、どこまでも届くだろうから、やはり大きいほうがいいと思うのだが、ちなみにこの前一般質問でやったLEDの強力懐中電灯も10メートルから1,000メートルくらいまで届く距離がある。町長はこの前それをイノシシに向けてやったら危ないと。それはもちろん危ないのだが、自分が帰るときに照らしていくと、そういうことを私は言いたかった。これは一般質問の延長になるので言わないが。

その下の3目の災害対策費で、11節の需用費、非常食備蓄品。これの内容を尋ねる。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） これは非常食なのだが、県のほうも備蓄に関する方針というのを平成25年か、そのあたりに出しているのだが、ある程度の備蓄品をきちんと各市町も装備してくださいという方針がある。根拠としては、人口の5%程度の人が3日間3食、食べられる分だけの食品ということになっている。うちのほうが2,500人で計算すると約1,125食になる。なので、今回1,200食を備蓄しようと考えている。品物は、ライスクッキー類、保存用のビスケット、パンの缶詰、飲料水。この3食セットを購入しようと考えている。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） この非常食の食品の分、ストックはどこにするのか、それから大体何年くらい置いておく義務があるのか、そこを尋ねる。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） 保存期間は、5年もつ。それから場所については、今回は1,200食くらいなので、役場の倉庫のほうで管理はできるかと思うが、今後増やすようなことになれば、きちんと備蓄倉庫を整備して管理していく必要があると考えている。

委員長（土川重佳） ほかにないか、消防費。 今田委員

委員（今田光弘） 今のところであるが、実際に非常食が必要になるような場合、例えば停電しているとか結構あると思うが、この間、浦委員の一般質問のときに、町長は「懐中電

灯は今ストックがない」と言った。もちろん水と食料というのは大事であるが、懐中電灯あるいはろうそく、その辺の対応もしたほうがいいんじゃないかと思うが、いかがか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） 委員の言うとおり、食事だけではなく毛布であるとか、いろんな必需品、簡易トイレであるとかいろいろ必要なものは出てくると思う。なので先ほど言ったように、まずは保管場所をきちんと決めた上で、少しずつでも整備していきたいと考えている。

委員長（土川重佳） ほかにないか。消防費。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第11款・公債費

108ページである。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第12款・諸支出金

109ページである。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第13款・予備費

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） しばらく休憩する。

— 休憩 午前 11時02分 —
— 再開 午前 11時09分 —

委員長（土川重佳） 再開する。

第3款・民生費 (P.46～55)

松屋委員

委員（松屋治郎） 51と52ページ。4目、1節の報酬と2節の給料。これが人間的に置き換わったような感じになっていると思うのだが、こども園の人員計画、人間は足りているのかどうか伺う。報酬が増額になって、給料が減額になっている。ということは職員が1人減ってその分が嘱託に入れ替わったのだろうと思うが、保育児が増えている割には職員が足りているのか、適正に配置されているのか伺う。

委員長（土川重佳） 教育次長

教育次長（尾崎孝三） この人件費については、職員5名分の人件費で、4月から2名の新人の方を採用するということになっている。1名が退職で、計6名が職員として勤務するようになる。嘱託職員は現在1名契約している。それで嘱託を2名増やして園の運営にあたろうと考えている。嘱託は計3名になる。こども園の園児数は約76名ということで見込んでいる。それでクラスについては担任と補助を含めて大体10名は必要だろうと。そしてその運営をする中で、臨時職員がどうしても必要となってくる。それで今登録されている職

員が 16 名程度いるので、その中でシフトを組んで健全な運営に努めていこうというふうに計画している。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） 人件費のことで補足させてもらおうと、今回の職員給 5 名については、予算編成時 12 月時点での職員の数でやっているの、前年度と比べて 1 名減の予算編成にはなっている。ただ、今回の新規採用の職員についてはこの予算には反映されていないので、それだけ補足させてもらおう。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

宮崎委員

委員（宮崎良保） 48 ページの、独居高齢者見守り生体センサー保守サポート委託料及びリース料についての内容説明をお願いします。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 独居高齢者等見守り事業ということで、平成 30 年度の新規事業になるわけであるが、独居老人等のベッドに生体センサーを設置することによって、昨日の町長の施政方針の中でもお話があったと思うが、高齢者の脈拍数とか呼吸数等を管理することによって、異常があった場合に、家族等にアラームで知らせるというシステムになるわけだ。本体の生体センサーのリース料が、10 台リースするようになっており、今年度はモデル事業ということもあるので、10 人の方を選定してそれを貸し出すという形になる。貸出料については当然無料ということになる。それと、それに対するサポート料として委託料で 42 万程度。それからそのセンサーから家族等に発信する器具の初期の設置料として 30 万円ほどを組んでいる。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 見守り生体センサーということで、いわゆる接触型のセンサーということであるが、今の世の中の流れるには非接触型のセンサー、電波を使うので若干エラーはあるということだが、世の中全体的にはそういう方向にいつている。例えばエアコンの横にセンサーを付ければ、脈拍から呼吸数から、あるいは褥瘡ができそうだとかそういうのがわかる時代になっている。

一方、接触型だとたぶん安上がりにはなるのだが、今までの製品の中での接触型は、調べた範囲なのでもしかして違ったら申し訳ないが、マットの厚さが最低 10 センチ必要と言われている。10 センチから 30 センチくらいは必要だと。そうなると、町長が施政方針演説で、布団の下に敷くということを確認言っていたが、本当に現実問題として普通の家庭で使えるのかなという、それが非常に疑問を感じるのだが、いかがだろうか。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） せつかくの機会なので、本日現物を持ってきているのでそれを披露したいと思う。（生体センサーの現物を用いての説明）

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 先ほど僕が言った 10 センチというのは、実は誤作動が多いので厚みが

ないといけない、結局基本的には 1 人で暮らしているお年寄りということで、誤作動が多かったら、作動したからと言ってすぐ見に行くことはできないわけである。誤作動をいかに少なくするかというのはたぶん大きな問題だと思う。そういう意味でも 10 センチというのは必要で、それが例えば養寿園とか、人の目が行き届く所での実証実験ならまだわかるのだが、普通の家庭で実証実験はされるのか。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） これを取り入れる前に、昨年度で一応モデルということでやっており、施設でも取り入れてやったし、在宅のほうでもやっている。一人暮らしの高齢者でもある程度の実証をやっており、2 回ほどやったが 1 回目で不具合が生じた場合のやつも、こちらから業者の方に、こういうところがちょっと改良できないかという話で持って行って、2 回目でそれを修正したところをまた入れて、そこでもまたやっているの、ある程度の誤作動とかそういうところは解消できているかなというふうに思っており、今年度もまた、正式な取り入れじゃないので、とりあえずモデル事業ということで、またそこら辺で不具合が出た場合には、メーカーと話をしながら本格導入に向けて検討していきたいと考えている。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 非常に中身はよくわかった。必要なものだと思うが、本当に今のような見守りのシステムとして単純に考えたら、カメラが 1 台あればいいのではないかと思うのだが、いかがだろうか。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 防犯カメラということだろうか。家の中に防犯カメラがあって、それをどこか見るところで管理しておくという話だろうか。今のところ、うちとしては考えていない。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） モデル事業ということで実証するのは、それはそれでいいとは思いますが、これ 1 つに限らず幾つかのパターンを実際に取り入れて、できれば 1 番有効でかつ安いやつ、やっぱりそれは必要だと思う。できればこれに限らずに、もっといいもの、どんどん時代は動いているので、カメラでも動くものは認識するけれど顔がぼやけるとか、そういう技術もどんどんできているので、そういうのも前向きに検討してほしいと思うがいかがだろうか。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 先般、長崎県のほうで、こういう ICT を使ったデモというか業者が集まったやつに担当が行ってきたわけだが、その中でいろんなシステムがある。

その中で 1 番いいのが 1 番いいのだろうが、とりあえずうちとすれば以前から少し取り入れてきたこのシステムを 1 回やらせてもらって、これが本当に小値賀町にとって 1 番ベストなセンサーであれば、これを導入したいと思うし、これがうちにとってそんなにいい

システムではないということであれば、他のシステムを導入することも検討したいとは思っている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） この設備はリース料として66万上がっている。これはメーカーの器具の性能の検査というか、不都合があった場合どういうことがあるのかとか、そういったデータも提供しているように聞こえたのだが、メーカーにも協力しているような雰囲気を感じる。その機械に対してやはりリース料を払うのか。むしろ協力金をもらったほうがいいような気がするのだが、その辺の答弁をお願いします。

委員長（土川重佳） 町長

町長（西浩三） そういう考えもあるのだが、本体の金額はかなり割引いていただいていると思っている。ただ、これはまだ市販されていないので、そしてもう1つ付け加えさせてもらえば、これは将来的には保険適用になる可能性があるということで、それも含めてやっているの、高く売りつけているはずはないので、そこら辺はご理解いただきたい。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 今町長が言ったとおり、このセンサーについては介護福祉用具ということでメーカーのほうも申請をしているところで、将来的には、介護福祉用具として介護保険器具適用になる可能性があるの、その場合にはそちらで対応していきたい。

委員長（土川重佳） 松屋委員

委員（松屋治郎） これは一応高齢者と書いてあるが、夜中に呼吸していない時間帯がある人も若い人で結構いる。そういう人にはどのような考えがあるか。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 今回は独居の高齢者を対象に考えているので、これが上手くいくようであれば、全体的に広げていってもいいのかなと思っている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 先ほど私が言ったのはちょっと気になってはいるのだが、あまり深く追求してもなんなので、この辺でやめたいと思う。

機械に監視されるのが嫌という方もいると思う。これを将来的に導入するかしないかはまだはっきりしていないが、そういう先の見通しというかそれは考えた上でこれに取り組んでいるのか、それともはっきり目的を持って孤独死を防ぐために独居老人だけにやるとか、そういった明確な構想は持っているか。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） このセンサーが全てではないと思っている。現に今でも「独居ベル」というものもあり、それに代わる、それではできない、それをカバーするようなシステムとして、このシステムも考えている。独居ベル、生体センサー、そのほかにも見守り隊をつくったりとか、そういうふうなやつも含めて高齢者の見守りを考えていきたいと思っているので、この生体センサーが全ての高齢者にいくかどうかということも含めて、

今後考えていきたい。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） これをつけた人の身体状況はどこに伝わるのか。家族か、それとも病院か。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 基本的には高齢者の見守りということで、家族の方が当然見守るべきかと思っているので、まずは家族の方と契約というか、家族の方に異常の知らせがいくようにしたいと考えている。家族が島外にいる場合には、家族の方から島内にいる親戚であったり、そういうところに連絡をしてもらって、救急車が必要であれば呼んでもらうというようなことを今の段階では考えているのだが、将来的には直接病院にアラームが飛ぶとか、消防署のほうにアラームを飛ばすということも考えているので、そこら辺は今後の検討課題かと思っている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 次に質問をしたいのだが、民生費の 3 目・敬老祝金。これの小さい説明書きに、70 歳以上は 1,000 円、75 歳以上は 6,000 円、100 歳到達時に 5 万円。これの人数を教えてほしい。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 70 歳以上が 964 人、75 歳以上が 780 人、100 歳到達が 4 人と見込んでいる。70 歳から 74 歳までは 190 人。75 歳以上が 780 人、うち 4 人が 100 歳。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 70 歳から 74 歳の 190 人の 1 人 1,000 円、敬老祝金。これは本当に必要か。金額的にはそうないけども 1,000 円。これは弁当代か。わかった。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 70 歳以上の 970 人に対しては、各地区で敬老祝いの宴を催しているのですが、そのときの弁当代ということで 1,000 円を支給している。それから 75 歳以上については、町の敬老祝金ということで 1 人当たり 6,000 円を支給しており、100 歳以上の方については 1 人当たり 5 万円ということで祝い金を支給しているということである。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 商店街の方に聞いたのだが、商品券でもやっており、それでお年寄りなものだから、使用期限を全く気にせずに持ってくる方がいるそう。利用できる期限を超えたものを持ってきて、それでも商店街の人は「使えないよ」とも言いにくいのでサービスしているそうである。やっぱり高齢者というのは、どうしてもそういう面であとくなるので、やった後もこれがきちんと利用できるようにフォローしてほしいと思う。その辺もよろしくご指導願う。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） そのようにしたいと思う。ちなみに毎年、換金率は 98%くら

いにはなっているのですが、今後たぶん小値賀新聞に、いついつまでで今回は使えなくなるという広報もしているが、それには十分注意したいと思う。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） これも3目の老人福祉費に関係するが、独居老人ベル設置協力者謝礼、それから独居ベル手数料とか、独居ベルに関して上がっている。私は今、新町に住んでいるが、隣地区の柳田町の独居老人のご子息の方が、自分の地区にこれを受けてくれる人がいないということで、わざわざ新町の私のところまで1回相談に来たことがある。そういった意味において、これをするからにはもう少し地区の方にちゃんとこの大事さを、意味をわかってもらって、指導などもしっかりやってほしいと思うが、その辺はどうか。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） この独居ベルについては有線になるため、設置に制限がかけられることもある。そういうこともあり、隣の人にどうかというのもあったりするので、そこら辺は4月の会長会等でも、これが高齢者にとっては有効な見守り体制になるということはお伝えして協力を依頼したいと思う。

委員長（土川重佳） 末永委員

委員（末永一朗） 50ページの報償費の中の8節の出生祝金とあるが、昨年度は赤ちゃんは何人くらい誕生したかをお願いします。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 10名である。本年度は出生祝金については、第1子が4人、第2子が4人、第3子が4人ということで、とりあえず過去の3年間くらいの実績で12人を組んでいる。それと出生祝金には3人目以降50万支給するのだが、出生時に30万、そして小学校入学時に20万ということでそれも含まれているので、本年度は小学校の入学児が6人となっている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 48ページの3目13節・委託料であるが、買物弱者サポート業務委託料、これはたぶん商工会がやってる事業だと思うのだが、その松原さんの奥さんが軽乗用車で移動販売をしているが、この方も小値賀の実情からいったら福祉の面で結構つながりがあると思う。そういった方にも例えば油代の幾らかを補助するとか、そういうことは考えられないのかお尋ねする。これは町長の答弁でもいい。よろしくをお願いします。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） この買物弱者サポートについては、前方地区の筒井浦のところに仮店舗を構えて週に2回ほどやっているわけだが、まずこれをつくった経緯としては、前方地区に店舗が一店舗もないということで、高齢者の方が笛吹に行くにはちょっと不便だというような方たちを、どうにかして援助できないかということで始めた事業だが、1番いいのは営業としてやってもらうのが1番いいわけだが、そういうことがなかなかできなかったということもあり、とりあえず困った人たちを援助するために何がいいかなとい

うことで、商工会等々検討をし、この方法を今やっているわけである。先ほど言われた個人で移動サービスをやっているという方については、基本的には営業目的にやっているもので、そこら辺は個人のほうでやってもらえればいいかなというふうに思っているし、もしそういうことで相談等があれば、こちらのほうでも検討してみてもいいのかなというふうには思っている。

委員長（土川重佳） 町 長

町長（西 浩三） これは委託先がご本人じゃないそうで、委託先は商工会になっているようなので、今課長が言ったように商工会と相談して、商工会のほうで入ってくれば、こちらも委託料の中に入れることは可能かと思う。要するにうちが直接やっている事業じゃないと。町が商工会に委託して、商工会とご本人とが契約している内容のようであるので、そこは、そっちのほうをしていただくことが先かと思う。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） であれば、商工会のほうに例えばその松原さんの油代の一部とか、もし相談があれば、その分を補填する可能性はあるということか。商工会のほうに補助金が出て、商工会のほうで幾らか補助すると。そういう形になったらいいというような感じか。

委員長（土川重佳） 町 長

町長（西 浩三） そういうことである。商工会のほうから話をさせていただくようお願いをしたいと思う。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

横山委員

委員（横山弘藏） 同じ13節の委託料。高齢者生活福祉センター委託料1,240万円。それから1目13節・地域福祉センター指定管理委託料。福祉センター関係の予算も結構毎年上がってくるのだが、私が見る限り、利用者が年々下がってきていると思う。その辺のサービスの状況をわかる範囲で説明をお願いする。それから福祉タクシーが仕事を始めているが、その辺の活動状況等もお願いしたいと思う。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） まず高齢者生活福祉センター委託料、「たんぼぼ荘」であるが、これについては委託料の内容としては人件費が主なものになる。1,240万ほど組んでいるが、人件費で約850万。その内訳としては、管理人の給料手当、それから生活支援の賃金、それから調理人の賃金等が含まれる。それと事務費として残りの分を支給しているということになる。それから配食サービスの事業運営委託料であるが、1食あたり600円で1カ月90食を見込んでいた。昨年度からすると少し減ってきていて、月当たりで30食程度減っている。

それから生きがいデイサービスであるが、現在生きがいデイサービスについては福祉センター、大島の「和楽園」、前方の「ふれあい館」、納島の「くつろぎ館」、斑の「出会いの館」ということで、5地区で自立デイをやっている。29年度から斑が増えたわけであるが、

利用者等の予定としては福祉センターで 50 人、和楽園で 330 人、ふれあい館で 300 人、くつろぎ館で 100 人、斑の出会いの館で 180 人程度を予定している。先ほど委員が言ったように、利用者が減ってきているんじゃないかというお話もあったが、特に笛吹地区で活用されている福祉センターは年々減っているのだが、それに代わるものとして介護予防教室等を頻繁にやっている。スクエアステップというものを数年前から始めているが、30 年度の予算にも組んでいるが、今年度から 100 歳体操というやつをまた取り入れて、高齢者の介護予防に努めるようにして、うちの担当である介護予防の給付費を下げるように考えている。

福祉タクシーに関しては社協のほうやっていて、うちが直接やっている事業ではないが、社協からいただいた資料によると、2 月の末現在で、全体で 788 件の利用があった。内訳としては、診療所への通院等に 267 件、フェリーターミナルまでの移動に 306 件、これが大体主なものになっている。

委員長（土川重佳） ほかにないか。民生費。 今田委員

委員（今田光弘） 50 ページ。児童福祉総務費の中の 13 節の委託料で、町内遊具点検業務委託料ということで、町内の遊具を点検するというまさにその名前のおりだと思うが、現時点で既にどう見ても危ない遊具とかが放置されているような状況もあるかと思うが、この場合の委託料というのは点検するだけなのか、それとも点検して危なければそれを動かさないようにするとか、そこも含まれているのか。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） これについては点検のみの委託料になっている。点検後、撤去が必要であるとか修繕があるとかいうのが出てきた場合には、補正で修繕料等を組みたいと考えている。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） なかなか実際には遊んでないかもしれないが、危ないやつは極端に言えば一刻も早く修理したりとか必要になると思うので、その辺は点検に行った業者さんかどなたかわからないが、その方が危険だと思ったらそれはある程度早めに処理をするようにしたほうがいいのではないかと思うが、いかがだろうか。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 今も町民の方から、「こういうところは少し危険だよ」というようなことがあれば、早急に使用禁止等を張り出して使用をやめているので、そこら辺は臨機応変に対応したいと思う。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） わかった。もう 1 つ、51 ページの負担金のところで、子育て支援世帯保育料軽減事業ということで 1,350 万。これは主要事業一覧の中で 13 番に入っていて、13 番の事業内容の下の方に「一時預かり事業については、待機児童に限り補助の対象とする」ということで、待機児童が出る可能性があるということをここで触れていて、先ほど

のお話で30年度は子供が12人生まれるという計画を一応立てているということであるが、もしかしたら実際に待機児童が生まれる可能性が高いのかなと思うのだが、その辺の実態はいかがだろうか。

委員長（土川重佳） 教育次長

教育次長（尾崎孝三） こども園の0歳児については、6カ月の家庭内保育という形の育児を専念していただくというふうを考えている。予定として6名を計画しており、それに応じて増えるようであれば、待機が発生するのではないかと思う。

委員長（土川重佳） 町長

町長（西 浩三） ちょっと補足するが、我々としては、年度途中で生まれて、生まれてすぐ保育園に預けるという意味で入れなかったのを待機児童と数えるのか、というのが1つ疑問である。我々とすれば4月の時点で募集をかけた時で、1年間計画を立ててやるべきじゃないかと。途中からの入所というのは大体公立だからそういうことが起きるかもしれないが、私立であれば余裕がなければ取らないはずなので、そこら辺は臨機応変にやりたいということであるのだが、できれば今次長が言ったように、子供はできるだけ家庭で見るとというのが保育の基本だと。幼稚園と保育所が合併したときに保育所の先生からはかなりきつく言われたことを今でも覚えているので、できるだけ家庭で育ててもらって、そしてある程度の年齢が来たら預けるというのもやぶさかでないわけである。そういうことになかなか難しい問題だと思うが、3人単位ということなので、6人でやれるなら6人でやりたいと。それが7人になったときには、また先生を1人増やさんばいかんということになるので、もう計画自体が成り立たなくなる可能性があるんで、そこら辺はご理解をいただきたいと思う。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 言われることはよくわかるし、僕も個人的には子供が余り小さいときにこども園に行かせるのはどうかという部分もある。ただ、町がこども園の実質無料化をすることによって逆にそれで混んでしまって、という矛盾なのだろうが、むしろこども園に行かせない家庭に対する補助というのを出したら、もしかしたらいい方向に行くという可能性もあるなって今気が付いたのだが。

それと実際に保育士さんの数が不足気味というのはやはり間違いないので、これから先も募集というのはしてほしいし、去年か一昨年に家庭的保育という新しいやり方も生まれているので、その辺の導入も考えておられると思うのだが、その辺についてだけ最後お答え願いたい。

議長（立石隆教） 教育長

教育長（吉元勝信） その件については私のほうからお答えする。確かに0歳児については、半年間くらいはできるだけ家庭の中で保育してほしいなということで、今年の募集の中にもそういうのを入れさせていただいた。そういう方針で今年度は進めていきたいと思っている。それから保育料の実質無料化による入園児の増加というのは確かにあり、そう

いう中で、本当に入園が必要という方がやはり優先的にしてもらって、どうしても職員数によって受け入れができないという方々が発生する可能性があるが、そういう場合については優先順位というものを着実にやりながら対応していきたいと思う。保育士については、今年度2名採用ということになるが、再任用の保育士も1名おり、今後も計画的に町長と相談しながら採用していきたい。

家庭的保育については、昨年度そういうものができたが、なかなか有資格者が少ない中では難しいところもあるかと思う。こども園ではどうしても対応しきれないところが今後出てくる可能性もあるので、そこら辺については福祉事務所のほうも検討してもらいながら、働きたいという家庭においては十分な保育ができるようなことを、町全体としても考えていく必要があるかなと思う。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 家庭的保育のことが出たので、少し福祉の立場でお答えしたいと思う。家庭保育事業ということで研修等をすれば、1人で家庭のほうで3名程度、0歳児から2歳児くらいを見れるというふうな制度もあるので、そこら辺も必要性を今後見極めて、どうしてもそれが必要であるということであれば対応したいと思う。

委員長（土川重佳） しばらく休憩する。

— 休 憩 午 前 12 時 00 分 —
— 再 開 午 後 1 時 30 分 —

委員長（土川重佳） 再開する。午前中に引き続き民生費から。民生費、質疑はないか。

今田委員

委員（今田光弘） 先ほど教育長からお答えがあった。お昼ご飯を食べていてすごく思ったのが、国が決めている保育士さんの数というのは最低の数である。その人数がいればいいということであって、実際働いている人からすると、子供の人数は実際には手に負えないくらい大変だということを知っている。それに対して先ほどの模範的なお答えで、計画的に募集するという話があったのだが、あんまり計画計画というよりも思い切って募集するくらいしないと、やっぱり働いている人たちの立場になって考えると、人手が欲しいと思ってるんで、その辺はどのようにお考えか。

委員長（土川重佳） 教育長

教育長（吉元勝信） 確かに今は支援を要する子供たちも増えており、例えば法で規定されている職員プラス1人の加配とか、そういう部分で対応しているクラスもある。そういう中において、先ほども言ったように町内の資格を持った方たちが限定されるために、なかなか十分確保できないというような状況がある。そういうことも踏まえ、まあ募集は毎年かけているのだが、その年はゼロであったり、次の年は2名になったりとかいうこともあるので、募集をかけて応募の人数が多いときには、町長とも相談しながら将来のことも見据えながら、先手を打ちながら採用する。そういうことも今後検討が必要ではないかな

と考えている。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

横山委員

委員（横山弘藏） 54 ページ。生活保護総務費。

1 節に、生活困窮者相談嘱託職員報酬が上がっているが、この生活保護に関する状況について説明をお願いする。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 生活保護受給者については、現在 27 ケースが受給になっている。増減の動向としては、毎年 27、28 から始まって、年内に新規で若干何件か増えることもあるのだが、廃止もあるので、平均して 27、28 ケースで収まっている状況である。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 報酬の 153 万 6,000 円。この嘱託職員というのはどういう方というか、どういう仕事というか、その辺の説明をお願いする。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 生活困窮者自立支援事業というのを福祉事務所では必須になっているので、今やっている。その支援になるわけだが、生活保護に至る前の段階で自立支援の強化を図るため、生活困窮者に対して自立相談支援の事業を実施するのであるが、具体的には、生活保護を受けたいというような人が来た場合に、就労能力、まだ働く年齢層であれば、まず生活保護になる以前に働き先をこちらで斡旋ではないが、小値賀町にはこういう仕事もあるがそちらのほうで仕事して、生活保護じゃなくまず自立してやれる方法を模索する。そういうのを相談者と一緒に支援するというか、支援の計画を立てる役割の支援員になる。

委員長（土川重佳） ほかにないか。民生費。55 ページまで。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

（福祉事務所・教育委員会、退室）

委員長（土川重佳） 第 4 款・衛生費（P.55～63）

宮崎委員

委員（宮崎良保） 主要事業一覧で何うが、海岸漂着物等地域対策推進事業ということで組まれている。中身を見ると、小学生を対象とした環境教育ならびに「海ゴミなくそう&ゴミ収集カレンダー」による町民の漂着ゴミに対する環境意識の向上を図るということで書いてある。内容としては小学校の生徒たちを中心としているように感じるが、各地域に対する啓蒙活動はしないのか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（橋本 満） 小学校での環境教育ということで、海ゴミをなくそうということで「りっぱカンパニーズ」の方に講師になっていただいて授業をして、それでみんなで離島周りを船で見て短歌にまとめてカレンダーをつくっている。そのカレンダーをゴミの収集日とか一緒に合わせてつくり、離島を除く本土の全戸に配布して、住民の方に意識改革

をしていただいている。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 趣旨はわかるのだが、ただ単純にカレンダーを全戸に渡すというだけで、その内容の説明は各地域でしないのか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（橋本 満） そのカレンダーを使っての周知はしていない。しかし、町内一斉海岸清掃により、海岸の状況とか皆さん参加されて意識は持っていただいていると考えている。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） わかった。確かに非常に重要なこととは思っているのだが、これは小値賀ばかりじゃないので、隣の宇久とか上五島とかと連携してこういったことをやるという考えはないのか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（橋本 満） 今のところそういう考えはないが、海岸漂着物の事業に関しては他の離島も取り組んでいるし、そういうことで同じ事業をすることにより、連携して海岸漂着物の対応をしているというふうに考えている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 62 ページの 2 項・清掃費。1 目の 13 節・委託料、62 ページの 1 番最後になるが、一般廃棄物処理基本計画策定業務委託 500 万。これはどういう内容のものか説明をお願いします。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（橋本 満） この計画は一般廃棄物、ゴミとか、し尿、そういった処理をどうするのかという基本計画を町村が立てるようになっている。それで現計画は平成 20 年度に作成しており、10 年計画となっている。今年が 30 年度ということで最終年度であるので、そこで定められた目標値の検証と、市町村は一般廃棄物を今後どのようにやっていくかというような計画を作成するものである。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 小値賀町もゴミ問題は緊急の課題に入っていると思う。最終処分場の問題もあるし、ゴミの焼却場の寿命も近づいているし。これはプロが立てるのか、プロに頼むのか。そしたら、そういった中で小値賀町の今後 10 年間の計画の中に、そういう最終処分場の問題とか焼却場の問題は当分入ってくるのか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（橋本 満） 委員の言うとおりの内容で、焼却場が老朽化しているので、可燃ごみを他のところに搬出すべきなのか、それとも新たにつくったほうがいいのかとか、そういった経済比較とか環境について話し合ったりする。それから、し尿処理場のほうも老朽化している。それをどうやるのか、といったことをプロの方を交えながら検討するのが

この業務の目的である。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） ゴミの問題は一般住民の生活にも直接、非常に関連していると思うが、その中でこういう計画を立てるときには、今後ゴミをどうするか、焼却場で燃やすのか、それとも島外に搬出するのか、そういういろんなことを考えると住民抜きでは本当の計画はできないような気がするのだが、これに一般住民のご婦人の方とか、そういったことも含まれているのかどうか尋ねる。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（橋本 満） こういう問題を考える組織がある。小値賀町の環境美化推進委員会というのがあり、その方たちに入ってください計画を作成したいと考えている。

委員長（土川重佳） 松屋委員

委員（松屋治郎） その場合漂着ゴミというのは視野に入っているのか。対馬は年中漂着ゴミが多いということで、漂着ゴミの発泡スチロールとかペットボトルとか燃やすような処理をするということで、この前新聞に載っていたのだが、漂着ゴミも対象に含められるのか。

委員長（土川重佳） 町 長

町長（西 浩三） 対馬の場合はかなり広範囲でいっぱいあるので、自前で処理施設をつくっているようだが、小値賀町の場合さっきから話にあるように、地元で焼却場をつくるかどうかまだはっきりしていない。地元でつくるのであれば当然それも焼却するようになると思うが、実を言うと、何年前かにコンサルを入れて調査をかけたことがあるのだが、その結果は、「持ち出しても新たに施設をつくっても費用的には余り変わらない。」というなんとも悩ましい結論が出ている。その後我々がやっているのは、何度も言うがとにかくゴミをできるだけ減らしてみても、10 トンダンプに一杯くらいになるのであれば、持ち出した方が安く上がるだろうなというのは我々素人も大体想像がつくわけだが、これらも何台もいるということと、そうなるとやっぱりストックヤードをつくらんばいかんということになると、またそこに管理費用も絡んでくるし、人員もいるということで、担当課長にはなるべく早く結論を出すようにしようということで、その調査もしてくれというふうに頼んでいる状況だ。そういうことで、先ほどに戻って松屋委員の質問に対しては、漂着ゴミはなくなることはないと思うので、地元で焼却場をつくる場合には、当然こっちで処理をしたいなということになると思う。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

横山委員

委員（横山弘藏） 焼却場の問題もいろんな問題を含んでいると思うが、最終処分場もだんだん嵩上げして山のようになっているみたいだが、あれは県のほうからは何か指導は受けていないのか。今のままでいいのかどうか聞きたい。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（橋本 満） 現在のところ埋め立てについては計画内なので、県からの指導は

受けていない。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 飛んで 62 ページなのだが、2 目の 18 節・備品購入費、スポット型クーラー購入費と塵芥車購入費がここに書かれている。スポット型クーラーの購入については、今言われたストックヤード等に関することだろうと思う。塵芥車については ISUZU のやつが悪くなったので購入したいという考え方なので、この 2 つの内容を伺う。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（橋本 満） まずスポットクーラーの購入だが、ストックヤードの作業の環境改善ということを目的に購入する。理由は、あの場所は風が通らない、それと開放した作業場のためクーラーが効かない、なので効率的に冷やしたい場所を移動しながら冷やせるスポットクーラーを購入するものである。

次に塵芥車の購入費であるが、この塵芥車のほうは平成 13 年 7 月に購入し、今 17 年目である。通常こういう塵芥車は 3 年くらいが限界だそうである。それを辛抱しながら修繕をしながらやってきたが、自動車整備業者の方からもこれ以上は無理だということも言われた。そういった目的で購入する。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） スポットクーラーについては、夏は私も行ったことがあるが、あそこは中に入れんほど暑い。上は鉄板で風は回らんし、おばちゃんたちが汗びっしょりして 1 台 1 台扇風機をこうやりながらしていたが、本当に大変だったと思う。

これは 1 台ということでもいいのか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（橋本 満） 2 台である。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 塵芥車購入のことだが、購入した後のこの車は本当にもう使い物にならんのか。委員長が休み時間のときに、動くようであれば草刈班に回せば圧縮していくから結構な量を搬出できるんじゃないかという話もあったもので、もし動くようであればそちらに回してもいいのかなと思ったのだが、そういう考えはないのか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（橋本 満） 委員の言う有効利用ということは本当にいいことだと思うが、先ほど言ったように、17 年が経過して修繕のしようがないということと言われておるんで、再利用については難しいと考えている。

委員長（土川重佳） 私たちも度々旅行したときなんかよく見るのだが、道路掃除ではやっぱり新車はいない。そういう下がりをお効利用している。

はっきり言って今軽自動車 1 台で西目に 1 回 1 回運びよるけど、あれの 10 台分くらいは積める。やっぱりそういうところももう少し検討してもらえればなど。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（橋本 満） 道路の作業車はトラック 3 台で今やっているが、もう少し効率よくという観点からいけば、そういうことも研究していきたいと思う。

委員長（土川重佳） ほかにないか。 今田委員

委員（今田光弘） スtockヤードにスポットクレーンを入れるということで、環境改善で非常にいいと思うが、実際にやっている人たち、特にお盆とかお正月の休みのときに、かなりの段ボールだとかいろいろストックが増えて、休みだけでも任意で出勤していると。そしてそれに対しては当然お金も出ないということで、そういう話を聞いているのだが、その辺の管理というのはしっかりしているのか。特にお盆の場合には、実際に途中で人を入れないといっぱいになってどうしようもないという状況を聞いているが。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（橋本 満） 作業管理については、作業者と確認をして作業日程表をつくっている。先ほど言われたのは、休みの日に行っているときも、「きちんと捨てているかなと心配になってちょっと見に行く」ということは聞いている。だから作業ではなく責任感で確認をしに行っているということだと思う。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） はい、わかった。61 ページの清掃費の中の賃金で、去年は確か木材の破碎作業というのがあったと思うのだが、それが今年には計上されていないというのはどういう理由なのか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（橋本 満） 今年は最終処分場管理賃金ということで一つにまとめた。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） はい、わかった。同じく 61 ページで 1 番下の委託料なのだが、前々から非常に疑問に思っていたのを今年初めて聞くが、下から 2 番目のごみ収集委託料で 1,200 万円余り計上していて、普段僕らが生活している中でゴミの収集料金というのは年に 2 回か、お支払いしており、家庭の人数によって払っているが、それとこの収集委託料というのは、その辺はどう違うのか。教えてほしい。

委員長（土川重佳） 町 長

町長（西 浩三） この委託料は業者に払う分であり、皆さんが払っているのは小値賀町に払っているということである。だからイコールにはなっていない。当然うちのほうが少し軽減を図っている。そういうことである。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） よくわかった。62 ページに行く。先ほどから出ていた一般廃棄物の処理基本計画であるが、逆に普段暮らしていて気になるのが産業廃棄物。これは漁業者の船、個人の物なのだが、かなりあちこち目立って特に浜津とか酷い状況なのであるが、一般廃棄物だけではなくて産業廃棄物にも係るような、そういう小値賀のゴミをどうしようかという計画を出したりする気持ちはないか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（橋本 満） 計画の中には入っていない。個人の財産で、個人の責任において処分するのが基本ということで考えている。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） それは重々承知している上で言ったのだが、やはり気になる場所、もしかしたら産業廃棄物ということではなく小値賀町の景観というか美観、それも含めて考えていかないといけないのかなど。それでむしろそこでお金を出すとかいうよりも、もっと自分で処理するような、うまい方策を提案するとか、そういうのができればいいと思うのだが、いかがかだろうか。

委員長（土川重佳） 町 長

町長（西 浩三） 特に船については、今要望をしている。というのはものすごく金がかかるということで、それが主な原因で漁港に放置されているということである。それで、個人に処分をお願いしてもなかなか進まないということで、全国的な、離島ばかりじゃないが港があるところの問題になっているので、今のところ小値賀でいう産業廃棄物の処理では 1 番困っているのはプラスチックの処理だと思うが、そこについてはもう何年もかかっているんで、何かいい方法が出てくるのではないかと考えているのだが。各市町の話聞いてみると、いろいろやっているが金はかかりすぎるしということで、みんな頭を痛めていて、特に小値賀の場合はロットが少ないということで、処理場をつくるわけにもいかず、業者としても業としても成り立たないということで、なかなか難しいと思う。

そういうことで、さっき課長も言ったが、一般廃棄物の処理については市町村の義務であるので、このほうについてはこの調査で業務委託をして、ちゃんとしたと思っている。また、産業廃棄物、特に船の問題についてはまた別のセクションで、国のほうにも毎年要望しているので、なんらかの対策が、長くならないうちにできるのではないかとそういうふうに思っている。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） はい、よくわかった。ちょっと戻るが 57 ページの保険衛生費の中の 2 目・予防費なのだが、予防費の中の 13 節・委託料に予防接種業務委託料というのがあるが、この予防接種というのはどういう予防接種なのか。

委員長（土川重佳） 住民課長

住民課長（西村久之） この予防接種というのは私もよくわからないのだが、ALE というのと BLE というのがあるらしい。その ALE と BLE の中身は私もよく知らないのだが、予防接種業務の中に ALE と BLE というのがある。それとインフルエンザの予防接種、それと肺炎球菌予防接種がこの中身である。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） そういうのは小値賀のお医者さんがやっているのかと思ったのだが、これは外のお医者さんをお願いするという事なのか。

委員長（土川重佳） 住民課長

住民課長（西村久之） 小値賀の診療所である。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 普通旅費が例えば6万5,000円上がっていたりとかするのだが、そういうのを見て、よそから来ているのかなと思ったのだが。

委員長（土川重佳） 住民課長

住民課長（西村久之） この旅費については担当者の予防接種業務に係る会議に出席するための旅費である。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 6万5,000円で割と大きかったのだ。はいわかった。

次のページに行く。58ページなのだが、先ほどから話が出ているが、委託料の中の海岸漂着物等うんぬんで、漂着ゴミの処理代というふうに考えていいと思うのだが、950万ということで、小値賀全体のゴミの量を考えたときにずいぶん少ないと思うのだが、なにかその範囲とか、どこをやるのかとか、その辺のことについて話してほしい。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（橋本 満） この委託分は、業者の方が収集して分別して作業する分である。金額は、県からの予定額ということで今のところ入れている。30年度の計画箇所は、一応野崎、納島を考えている。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 野崎島と納島以外の小値賀町の海岸漂着物は、どういうふうに処理されるのか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（橋本 満） この事業のほうは27年からやっており、長崎県が定める重点区域というところをローテーションしながら作業、収集をしている。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 重点区域という言葉聞いてそれが実際どこなのかというのはちょっと認識していないのだが、町内の普通の漂着ゴミというのがあっちにもこっちにもあって「りっぱカンパニーズ」が一生懸命ボランティアでやっているという状況の中で、7月だったか、海岸清掃を町内全員でやるという機会があって、一部の地域では燃やしてしまったりしてないかなとかいろんな話も聞く。

今年1月かなんかに、「野焼きは絶対に止めましょう」と建設課の名前で小値賀新聞にも出していたと思う。となると、小値賀の今漂着しているゴミをいったいどうするのかというのが見えないところなので、そこの説明を願う。

委員長（土川重佳） 町 長

町長（西 浩三） これはちょっと勘違いされているかもしれないが、大体こちらで処理できないところを業者のほうにお願いするということになっており、先ほどから課長も説

明しているように、ちょっと言えば割り当てで、前、始まった時は補助率が 10 分の 10 だった。ボランティアにしても町民の清掃でも取ることができない場所を選んで、ローテーションでやってるというような性質のものなので、これと今のその小値賀本島あたりの皆さんが集めている漂着ゴミとはちょっと種類が違う。種類というか、流れてきているのは同じかもしれないが、例えば崖の下で皆さんが海岸清掃のときに取り切れないところとかを主にやっており、新年度は結構予算が付いたなと思っている。これは各市町恐らく引張りだこで、10 分の 9 の補助率である。そういうことで、あっちこっちから要望が多いんで、こちらがやりたいことの全部はなかなかできないということで、何年かかかってローテーションしていると、そういう状況である。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（橋本 満） 海岸清掃で集めた廃プラとかをどうするのかという質問が先ほどあったかと思う。それについては、この海岸漂着物の事業のほうで町外搬出できないかということを県に相談している。検討中ということで申し上げたいと思う。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 先ほどこっちで、冗談で野焼きじゃなくて浜焼きという言葉があったのだが、プラスチック類は 100% すべてのを燃やしてはいけないという法律があるので、そこは遵守しなければいけないと思う。ただ、現実的に難しいところがあるのも承知しているので、そこはしっかり認識してほしいと思う。

次に行く。59 ページ、健康増進費の中で 8 節・報償費の中に血圧相談医師謝礼というのがある。今までは健康相談ということで入っていたのだが、今年血圧相談になって、血圧相談だけで 30 万円もすごいなと思ったのだが、これはどういうことか。

委員長（土川重佳） 住民課長

住民課長（西村久之） 中身は昨年と同じなのだが、本当は、血圧相談ではなく、昨年度書いている健康相談の間違いである。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 1 目 18 節、テレビ購入費、業務用掃除機購入費、扇風機購入費、小型粉骨機購入費とここに書いてあるが、これは葬祭場の備品として購入すると思うのだが、この小型粉骨機の機能について説明をお願いします。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（橋本 満） この小型粉骨機購入であるが、今ここの管理をされている方が、1 時間ほどかけて火葬後の骨を砕く作業をしている。それから収骨の場所も小さいので、それも問題になっているということで、この粉骨機を使えば容積が 5 分の 1 になるということで、作業環境の改善と収骨上の軽減ということで購入費を計上している。

委員長（土川重佳） 衛生費、ほかにないか。 末永委員

委員（末永一朗） 60 ページ、委託料の中で健康がん検診のことが出ているが、健康がん検診で、受診した人の数を教えてほしい。

委員長（土川重佳） 住民課長

住民課長（西村久之） これは 29 年度の人数ということか。ちょっと今手元にないので、後ほどお伝えしたいと思う。

委員長（土川重佳） ほかにないか。衛生費。 浦 委員

委員（浦 英明） 63 ページの 13 節・委託料で、汚水処理共同化調査業務委託料が 800 万上がっている。これについては、し尿及び農集・漁集の処理場が老朽化してきているために共同化の可能性について調査するというような説明だが、もう少し詳しい説明をお願いする。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（橋本 満） 各施設老朽化が進んでいる。国のほうからも人口減少とかそういったことから収入減とか出てくるため、統合も考えてほしいと言われている。それで小値賀町の場合はし尿処理場も老朽化、それから農集・漁集で処理しているところも老朽化しているので、経営的に統合したほうが経済的なのか、今のまま維持管理したほうがいいのか、またその法律的な問題が統合にないのかとか、そういう基本的なものを洗い出して検討するといった内容がこの業務である。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） スtockマネジメントでやるというふうな計画で、辺地債の方でも上がっていたが、金額についてもある程度上がっていたが、概算で幾らくらいになるのか、億単位になるのか、何千万で収まるのか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（橋本 満） この委託事業によって、概算を全部つかまないと今金額がどれくらいということは答弁できない。

委員長（土川重佳） 住民課長

住民課長（西村久之） 先ほど末永委員の質問にお答えしていなかったので、お答えする。種類が 10 種類ほどあり、それぞれの予算に上げている人数を申し上げる。

婦人がん検診の子宮がん検診で 200 名。乳がん検診で 220 名。結核、肺がん検診で 550 名。大腸がん検診で 500 名。胃がん検診で 300 名。肺炎検診の HCV で 20 名、HBS で 40 名。前立腺がんの検診で 170 名。以上の予算を組んでいる。

委員長（土川重佳） 末永委員

委員（末永一朗） 近年小値賀町もがん患者が増えているので、回覧板等で受診の状況はわかっているが、なお一層 1 人でも多く受診できるよう、極力宣伝というかそういうのを進めてもらいたいと思う。よろしく願います。

委員長（土川重佳） 住民課長

住民課長（西村久之） そのように頑張りたいと思う。

委員長（土川重佳） ほかにないか。衛生費。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） しばらく休憩する。

（住民課退室）

— 休 憩 午 後 2 時 14 分 —

— 再 開 午 後 2 時 19 分 —

委員長（土川重佳） 再開する。

第7款・土 木 費 （P.83～86）

土木費、何かないか。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 84 ページの土木管理費の中の 19 節・負担金、補助金及び交付金の中で、今までは空き家活用移住促進事業の補助金が、去年確か 200 万あって、空き家に関して町長にいろいろお話していただいているのだが、この補助金がなくなってそれが何かほかのものに変わったのか、その辺の説明をお願いします。

委員長（土川重佳） 建設課長。

建設課長（橋本 満） 先日の一般質問の折にも話が出てきたと思うのだが、平成 27 年度から 29 年度にかけて空き家改修事業の予算を計上していた。しかし申請が 1 箇所もなかったのので、30 年度は予算のほうは計上せず、企業の方がやっている空き家関係の調査と一緒に、どうやったら使いやすい補助金になるかということの研究しようということで、30 年度は予算計上していない。それと、それに代わるものとしたら離島活性化交付金のほうで、平成 30 年度は 4 戸の空き家を改修するということが計画されている。

委員長（土川重佳） ほかにないか。 今田委員

委員（今田光弘） 85 ページの道路維持費の中の報酬。これは補正予算の中でもちょっと話して途中でやめたのだが、道路の維持管理をされる方の報酬が去年の金額より低くなっている。これはどうしてか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（橋本 満） 報酬で支出するものは委託職員ということになり、半年以上臨時職員として頑張った方が報酬のほうに当てはまる。それで、その要件を満たす方が年度途中になるので、その分の差が出ている。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） わかった。補正予算のときにもちょっと話したが、今班長が 7,500 円だと思う。普通の作業員さんが 7,000 円。6 カ月未満だと 6,500 円か。かなり厳しい数字だと僕は感じる。大雨だったらやらないが、本当に暑い日も寒い日もやって、去年確かに報酬が上がったということはわかるが人手もなかなか集まらない、それこそ先ほど違う仕事のほうではるかにお金になるっていう話もあったが、その辺についてはもう少し上げようとかいうことにはならないのか。

委員長（土川重佳） 町 長

町長（西 浩三） いつも言っていることなのだが、小値賀町の賃金を上げると他に波及していく。それで役場の中にも賃金で働いていただいている方もたくさんいるので、そこら辺のバランスというか兼ね合いがあり、こういう結果になっていると思う。ある程度を加算はしているつもりであるが、役場の中でもこれを特別上げるということに異論もある。そういうことで、それは受け取り方と言うか…まあ新年度最低賃金も改正されており、今田議員が言われた数字よりは上がっているかと思う。ただこれも総合的に判断させていただきたいということで、金額が29年度より上がっているはずなので、そこら辺はご理解いただきたい。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 町長の苦勞もわかる。言っていることもわかる。確かに役場のほうが上げてしまうと他にいろいろ波及するというのもわかるが、本当に苦勞されているということで、異論もあるということだが、これはやはり前向きに考えてもらいたいのと、例えば現在雨が降ったらお休みになる。聞くところによると、祝日に出勤しても加算がされないとか、どうもさみしい思いをしているという話を聞く。もし報酬として基準の中からそれを超えることができないのであれば、例えば、のり面の厳しいところ、上のほうとかあるいは崖の下のほうまで切っているという状況を考えると、例えば危険手当とか、新しい手当をつくって、少しプラスしてあげることができるのではないかなと思うが、いかがだろうか。

委員長（土川重佳） 町 長

町長（西 浩三） 今の賃金については、そこら辺も少し加味されているので高いんだろうと思う。先日から話を聞いていると、外の作業なので、当然雨のときは作業できないということで、その賃金が低いからといって単価を上げるわけにはいかないと思う。ただ、そのままではいけないかなと思う。そういうことで、道路だけではなく建設課がやっている先ほどあった仕分け作業とか、そういうところに振り向けることもこれから検討する必要があるかなと思っている。単価については我々も全然気にしてないわけではないが、気を使いながらやっての数字なのでご容赦を願いたい。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 今町長が言ったように、僕が一番気になるのは雨の日が多いと収入が減るといのが大きいことなので、今年の2月も手取りで10万いかなかったような状況で、それで食っていこうと思ったら食っていけないという現実がある以上、小値賀町の草刈りとかいろんな作業、室内作業も含めて全体的な中で、できれば本当にベストかなという気はする。すみません。自分の意見を言ってしまったが、それに関してはそれで終わる。

もう1つ、86ページ、15節・工事請負費の町道野崎本線災害防除工事ということで、主要事業一覧の中の58番、ロープネットを実施するというので、具体的にはどの場所を考えているのか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（橋本 満） 野崎の水道の配水池がある。あの付近に巨石が 1 個目立っていると思う。その巨石をロープ、ワイヤーで抑える工事である。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） ロープネットなので、本当にメッシュが粗いメッシュだと思うのだが、あの配水池の横の大きな岩を抑えるためだけの工事ということか。そうすると、途中で何カ所か落石の危険が想定される箇所が他にあると思うのだが、そこについては工事というのは特に考えていないのか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（橋本 満） 落石対策については平成 29 年度に野崎集落から少し抜けて上りかけたところの左側に巨石群が少しある。その工事については 29 年度に完了させる。その 2 カ所についてだけを工事対象としている。

委員長（土川重佳） 町 長

町長（西 浩三） ちょっと追加で話をするが、今の水源地の巨石というのが勘違いされているんじゃないかなと。あの周りじゃなくて、まだずっと高い山にある大きい石なのだが。だからどうも勘違いされているかなと思う。

委員長（土川重佳） ほかにはないか。

浦 委員

委員（浦 英明） その 1 つ前のページ。85 ページ 1 番下の委託料。町道唐見崎線と、トンネルの点検委託、これについて説明を。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（橋本 満） まず小値賀町トンネル定期点検の業務なのだが、小値賀町には 1 カ所のトンネルがあり、場所は空港の下をくぐるトンネルである。ここのトンネルは長さが 83.5 メートルなのだが、ここを定期点検しなさいという国からの指導があっている。それと 32 年度までにトンネルの個別施設計画を策定しなければいけないということで、今回計上させていただいている。

それから唐見崎線の防除工事だが、ここは皆さんご存知のとおり切土面が大雨時によく表面がずれたりしている。それを防除しようという工事で、場所は唐見崎を基準に考えれば、集落から出て防空壕から始まり、切土面が終わる前方の松崎さんの牛舎手前の切土面までを調査して設計するものである。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） 私もずっと以前にこれは質問したことがあるのだが、あそこは注意書きをして、こうちょっと引っ張って、「ここは後で工事をしますよ」というようなことでやっていたのだが、何年前かな、5 年も幾らも経つんじゃないだろうか。全然工事がされなかった。それで今回工事で上がっているから工事でやるのかと思ったら、設計委託とか言っていたので、今度やるのは工事ではないのだな。今の説明では。確認のためお尋ねする。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（橋本 満） 工事を前提とした測量及び設計の委託ということである。

委員長（土川重佳） ほかにないか、土木費。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第10款・災害復旧費 （P.108）

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第5款・農林水産業費 （P.64～79）

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 松屋委員

委員（松屋治郎） 70 ページ。1 項 4 目 14 節・畜産クラスター事業補助金 381 万 1,000 円について、平戸のキャトルステーションの整備事業の支援とあるが、本町はどのように活用しているのか、今後活用の見込みがあるのか、そこら辺を尋ねる。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） この事業に関しては、現在の平戸の中央家畜市場に隣接している第1キャトルセンターがあるのだが、その隣地に新たに第2キャトルセンターを整備する計画がある。その中で宇久小値賀の牛に関しても、委員さんたちご存知かと思うが、第1キャトルについては今対象になっていないが、今度この予算に上げている第2キャトルに関しては、宇久小値賀も含めた受入体制を構築するための整備となっている。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） 同じところで質問するが、この 381 万円 1,000 円。まずこの算出の根拠は何なのか尋ねる。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） この事業は国庫補助事業だが、国費の 50%に対して県費が 13.5%、それから関係市町の佐世保、松浦、平戸、小値賀、佐々で県と同率の 13.5%を負担するものである。残りは事業の取組主体である農協の自己資金ということになる。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） 我々もここに視察研修に行ったのだが、その折にちょっと言われたことがあり、前言っていたかなと思うが、とりあえず宇久小値賀はそのときは関係ないということと言われた。今のは第1のやつだ。だから第2について今度それが適用になったという説明だったと思うが、その時の説明では、まず協議会を立ち上げて出資金を払って、それから協議に臨んで自分たちで計画を立ててくれと。まあこういうことであつたのだが、そういった内容がここにこのように反映されているのか。確認の意味でお尋ねする。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 浦委員の言うとおりであり、この事業は県北のクラスター協議会が事業主体となる。今担い手公社が取り組んでいるスマート放牧事業と同じように、取組主体として農協が取り組むというような流れになる。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） わかった。そのときに説明を受けたのが、もしも仮に将来小値賀から

持ってくるとしたらどんなふうになるかということを知りたい、去勢の牛で1日640円くらいだと。そういった利用料を払わなくてはならないと聞いたのだが、その利用料を1日640円払うのと、極端に言えば今までどおり、例えば平戸に小値賀から持っていくとした場合、これも体重が減るからどっちが得か、そういった試算なんかしたことはあるのか、お尋ねする。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） すみません、取組主体が農協ということで、町独自で試算はしていないが、確かに言われるように輸送間近は体重が落ちることなのだが、このキャトルセンターが、生後3カ月から5カ月以降の牛を預かるということになっており、実際出荷されるのは生後7カ月から10カ月というのが普通なので、その間にしっかりと預かってもらって、体重も元に戻っていくというようなイメージでいる。

委員長（土川重佳） 次、何かあるか。

横山委員

委員（横山弘藏） 1項・農業費、3目・農業振興費の1節、鳥獣被害対策実施隊活動報酬とか、有害鳥獣対策員報酬とか上がっている。カラスを獲る箱があちこちに設置してあるが、カラスは年間どれくらいあの箱で獲れているのか、わかっているならば説明をお願いします。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 手元に25年度からの資料があるが、25年度からそれぞれ349、493、280、92である。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 92というのはかなり下がっていると思うのだが、カラスも学習したということか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 聞くところによると、横山委員が言うようにカラスは非常にかしこくて、猟友会の皆さんのオレンジのジャケットとか帽子を見ただけで、射程距離外に逃げていくとか、中には防災無線で駆除をすることを広報すると、隣の宇久島に逃げていくとか。だから直近の駆除のときにはあえて放送をせずに、町内回覧をして対応してみたが、それでも余り効果は上がらなかった。罾に関しても老朽化が進んでいて、効果が薄れているということもあったので、今回また県北の鳥獣被害対策協議会の事業になるのだが、国庫補助事業でカラスの罾を、檻をまた新たにつくって、実施体制も今イノシシのワイヤーメッシュの見回り隊を2名雇用しているが、担い手公社への委託から町直営で取り組んでみようということで、少し方向性を変えて取り組んでみたいと思っているところである。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

末永委員

委員（末永一朗） 75ページの下の方の19節・負担金、補助及び交付金のところで、水産経営安定対策事業補助金1,720万がある。これはボーリングのことだと思うが、値賀漁丸の分も入っているのか。その辺の仕分けの説明をお願いします。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 今回予算に上げているのは、漁業者のみである。漁協の鮮魚運搬船はここに含まれていない。

委員長（土川重佳） 松屋委員

委員（松屋治郎） 同じところで、エンジンのオーバーホールと機関換装と、それぞれ何件ずつあるのか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） この予算計上時点では、オーバーホールのみで予定者 19 名である。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 元に戻って申し訳ないが、65 ページ。8 節の地域おこし協力隊活動謝礼の中で、農業研修事業と受入農家への補助がここに書いてあるが、内容の説明を願う。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 8 節・報償費の協力隊の分であるが、30 年度に新たに農業研修生を確保したいということで、先日もご説明したが、研修事業の最初の 1 年を協力隊で過ごしてもらうための予算である。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 受入農家の謝礼というのは畜産を対象としたものと考えていいのか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） どちらも対象にしている。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 68 ページになるが、園芸ハウス長寿命化対策事業補助金で 200 万ほどここに計上されている。何棟なのか伺う。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 30 年度の予算に関しては、今回も春一番が吹いて大島のビニールハウスが被害を受けているが、そういった緊急時、災害時への対応のための予算化であるので、あらかじめ部会の皆さんに調査をして希望者を募って予算化という形ではない。そういう形は 3 年に 1 回実施している。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） その下の電気牧柵機購入補助金で 40 万円計上されている。これは各農家が購入したものに助成するのか、役場自体が購入するのか伺う。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 各農家の希望者に対して補助するものである。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 松伐採等々の予算が上がっている。昨日も聞いたのだが、800 立米くら

いの予算ということであった。今年も今のところ 1,500 立米ということで補正を組んで伐採をしているが、12 日で一応の区切りをつけるという話を聞いた。業者の作業の進行状況等について伺う。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 今現在実施している衛生伐の進行状況であるが、先週一旦取りまとめをし、75.3%、75%である。委員の言うように、補助事業であるので、実績報告の期限があり、12 日で一応実績を上げていただき、それで取りまとめをしたいと思っている。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 最終的な取りまとめは後日するという事だ。現状を見ると、確かに町道沿いの松はかなりの部分で伐採をしているのだが、本城岳、愛宕山、相津岳といった山のほうはまだ残っている状況である。これらも含めて 30 年度の予算を組んだということで理解していいのか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 先ほど 12 日で取りまとめと言ったが、実績報告の期限が 15 日とされているので、12 日で一旦取りまとめたものが、今第 4 期の期間であるのだが、この第 4 期の実績として最終的に取りまとめをさせてもらう。まだ残っているということだが、12 日に上がってきて、契約数量があるので、そこまで行っている事業体、行っていない事業体もあるかもしれない。そこで取りまとめた上で、今年度の予算の執行額も執行残も見込まれるので、繰越も含めて考えていきたいと思っている。よろしく願います。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 最後に肉用牛関係を聞きたいと思う。70 ページ、小値賀町肉用牛産地育成強化緊急対策事業補助金 923 万 4,000 円がここに計上されている。内容の説明をお願いします。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） この事業に関しては、増頭推進、それから繁殖メス牛の購入価格が高騰しているということもあり、支援スキームを見直したものの、継続事業である。内容的には 29 年度と変わらないが、繁殖メス牛の導入推進事業の補助金ということで、新規の就農者であったり、認定農業者、女性農業者、その他の農業者への導入支援。それから放牧であるとか、優秀産子保留等があった場合には加算といった支援内容になっている。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 昨年度牛舎 2 軒が計画倒れをして降ろしたようで、新たにまた試算をし直して計画をしているようだが、これらが完成するとやはり早急な導入牛の確保も必要になる。今 1 軒当たり 10 頭が最高かな…あ、基金事業か。やはり早急に牛を導入せんと、後々の畜産業者の収入にも影響するので、その辺の導入の確保についてもっと緩和できないのか伺いたい。

委員長（土川重佳） 町 長

町長（西 浩三） その必要性は十分感じているので、もし規制がかかっているとすれば外す方向で検討する。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） これで農家も大変助かると思う。早急に新しい事業の計画をして、早急に実施してもらいたいと思う。また小値賀町でもクラスター事業で、協議会の中で1軒、1億円を超す牛舎を建てる見込みもあるので、それらも十分に把握して、今後小値賀の第一次産業の担い手なので、十分に応援してもらいたいと思う。以上。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 林業に戻るが、2 款の松くい虫の賃金とか、委託料とか、かなりの金額が上がっている。前に産建の委員会で、唐津の虹ノ松原の状況の視察に行ってきたが、伐倒とか焼却とかいろいろなことをやっているが、その後の作業として松くい虫に強いスーパー松を植林していく事業も一緒に行っている。

小値賀町の場合、伐倒に力を入れているのはこの予算でわかるが、例えばこのように異常に枯れる状況を、素人判断ではなく専門家に見てもらったり、意見を聞いたり、そういった研究。それから枯れていった後の防風林の役目をしているところを再生するための植林も同時に行うとか、そういったことは考えているのか。説明をお願いする。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 委員の言われるとおおり、先日、2月の産業建設常任委員会において、この問題について質疑がなされたが、そういう植林とか考えているかということであるが、基本的には先ほど委員が言われたように私たちは素人であるので、専門家を交えて、去年の予算委員会のときも言ったと思うのだが、伐採と予防散布、それ以外の方法を考えていきたいと思う。残念ながら、現実への対応のほうが先に来てしまって、まだそこまで整理できていないのが申し訳ないが、考え方としては委員が言われるようにそういう総合的な保全の考え方というのは、まとめていきたいと思っている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 全国で多額のお金を使って空中散布とか伐倒とかやった挙句に、もう手が付けられないと、どういうことをやっても枯れていくのもうお手上げだと諦めて、何も手をかけていない自治体もある。小値賀町も例えば六島があれだけ空中散布を続けていても全滅した。そして今度は納島がやられている。そして今度は本島がいっぱいやられている。空中散布をしたにも関わらず枯れていくこの状況である。これは要するに予算の垂れ流しになるかもしれないというような心配がある。

そこでそろそろ抜本的な調査というか研究というか、そろそろ小値賀町もそういったことを県にも要望して、県の職員が首をかしげるくらいの枯れ方なので、本当に命よりも大事な松であれば、もうちょっと違った角度から、松の守り方を再検討してしっかりした対応をしてほしいと思う。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 「命よりも大切な松」というのは先日もお伺いしたが、それくらい松が大事だという意味だと私は理解している。先ほどの繰り返しになるかもしれないが、松くい虫の発生時期、そういうものも気温とか降雨量とかで影響があるという出典がある。マツノザイセンチュウが入った松であっても、高原にある松は枯れにくいとか。マニュアルを見てみるとそういう解説もあるので、うちでは久しく行っていないが松くい虫がいつ頃発生するかという予察、昔は毎日調べていて時期を推測していたのだが、ある程度の見解が出て固まったという中で途絶えてしまっている予察を再度実施して、例えば空中散布の前に地上散布を1回はさむとか、状況を見て対応をしていきたいと思っている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 水産業費のところでは少し質問したい。この前の長崎新聞で、魚価が高く推移するであろうクエの稚魚をもう少し多く放流して、沿岸漁業者の所得を上げるような対策を目にしたのだが、小値賀町の水産業費の予算の中でそういう稚魚の放流とか、漁獲を上げるための予算は、どの辺にあるのかちょっとわからないが説明をお願いします。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 種苗放流に関する予算は町で直接は持っていないが、離島漁業再生支援交付金、小値賀漁業集落へ交付する交付金であるが、その中で小値賀漁業集落が種苗放流に対する事業計画を立てて、この交付金を充てていくという流れである。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） わかった。それで例えば、長崎県の取り組みのクエ稚魚をもっと増やして放流するとかそういう前向きな計画は入っているのか。これは集落事業に任せているのか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） この漁業集落の活動に関しては、年に6、7回ほど役員会があるが、その際にうちの担当も行って一緒に計画の立案だったり、事業の推進を図っている。その中で種苗放流についても話し合われるわけであるが、30年度に関して予算を見ながら今クエの種苗の計画では4,000尾になっているようであるが、状況を見ながら増やしていく方向で話し合いはなされているようである。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） 74ページ。12節・役務費の藻場再生事業ボランティア保険料が43万2,000円上がっている。29年度の予算と比較すると大幅に上がっているのだが、ただ単純にこれは生徒が増えたのか。お尋ねする。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） このボランティアダイバーの活動に関しては、29年度新たに町内のライセンスを持っている方とか、潜水士の資格を持っている方に声掛けをし、私たち担当も含めてグループをつくっている。その活動のメンバーが増えたということと、保険の内容自体、潜水であるので危険を伴うということで、保険料そのものの見直しも行う

てこのように増額になっている。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） そうしたら保険の補償額が大きくなったということだな。それはそれとして、この藻場に関しては、六島の漁港に網仕切りをして実証事業をやると。こういうことで前に計画があったと思うのだが、その内容はどうなっているのか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 六島の古いほうの漁港の網仕切りの計画は今でも進めている。ただ、財源として国のほうに要望をしているところである。先月、全国市町村水産業振興協議会というのが毎年あるのだが、町長も理事として出席しているが、水産庁に対して、これが網仕切りとなると、網の法定耐用年数が一応 3 年ということで、国庫の対象にならないとかそういう話があったので、モデル事業になり得るので国庫の対象にしてみたい、考えていただきたいということで、町長に発言をしてもらったところである。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） それは困ったな。もう少し進捗状況はいいのかなと思ったもので。というのが、私が推奨した例の藻場が失敗に終わったものだから私も責任を感じている。だから、こういうところに活動を見出してもらえてありがたいなと思っていたのだが、ほかに方策はないのだろうか。

委員長（土川重佳） 町 長

町長（西 浩三） やはり担当課は固いことを言わないとしようがないので。予算化ができなかったということなので。何らかの形であそこを仕切ってやることは可能だと思っている。予算のめどもある程度付いている。ある程度確定してからということで、先ほど課長が説明したように国庫補助が網の問題で難しいということで、県単独でならいいという話なので、もし国庫がだめなときは県単独でやろうということで、県から聞かれたらちょっとまずいのだが、二段構えで。だから県のほうの予算の確保はできているが、それを出すと県でやれと言われるかもしれないので控えている。国の予算もまもなく通るだろうし、箇所づけが出てくればなんとかなるのではないかと、という感触は受けている。確実に、確実にということで予算を編成しているようなので、ご理解いただきたい。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） わかった。その下の 18 節に備品購入費がある。3 つばかりあるから、これについて内容をお尋ねする。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） まず、74 ページ最初の備品購入費であるが、これはうちの水産担当職員のドライスーツである。真冬でも潜水が可能で、スーツの中に水が入ってこない構造になっている。それを担当用に 1 つ購入しようとするものである。

次の協力隊の備品 2 万 2,000 円については、この協力隊が今回塩づくりに取り組んでみたいという希望があり、その事業を実施するための海水の濃度計を購入する予定にしてい

る。

それと最後の 40 万であるが、観光ダイビングの調査事業を 28 年度から行っているが、今回 30 年度において地域おこし協力隊を募集して、これから実際の運営のスキームとか、漁業との調整とか、そういったことが出てくると思う。そういう活動に取り組んでもらうための潜水機材、スーツとかダイビングをするための腕時計、ダイビングコンピュータというのだが、そういったものを購入する予定にしている。

委員長（土川重佳） 末永委員

委員（末永一朗） 主要事業一覧表の中に、新しい事業として水産加工施設が今度できるようになったわけだが、我々、網立の組合は非常に喜んで期待をしているところである。

そこで 2 点ほど質問をしたいと思う。これに対して 1 カ月どのくらいおたらどのくらい儲かるとか、赤字にならんとかそういった試算はできているのか。また、できた品物を嫁入りさせる売り場はわかっているのか。この 2 点について伺う。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） この水産加工事業に関しては、先日 2 月の産業建設常任委員会でも質疑があったが、特定有人国境離島の漁村支援交付金というのが創設されているが、その交付金を使って、小値賀漁業集落が事業計画を立てることになる。この交付金の活用上である。その中で、事業規模として 30 年度は年間 1,000 万ほどで取り組みを予定している。月に幾ら販売するという、そこまでの計画ではないが、事業計画としては今言った内容になる。

それから販売先であるが、これは以前から 27 年度に水産加工推進協議会を立ち上げて、試作をして町内の学校給食だったり、医療施設、福祉施設、一般の小売店、そういう町内の中でも意見を聞いているし、関東首都圏が中心であるが、担い手公社が取り引きをしている町外の居酒屋やレストラン、ホテルとも商談をしているので、そういったところに販売をしていくという計画である。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） 今のに付け加えてちょっとお尋ねするが、集落がやるということで、ちょっとあずかり知らないところもあるかと思うが、例えば練り製品はどんなやつを主に使うのか、あるいはフィレはどの魚を使うのか。干し物、乾物とかいうものはやらないのか。そこあたりをわかれば願います。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 加工形態に関しては、一次加工である。切り身である。先ほど学校給食とか医療施設と言ったが、切り身を主体に、それから以前も言ったが、町内の練り製品の加工事業者さんと連携して練り製品の開発をするようにしている。それと燻製品だ。ハガツオの生節をつくっている事業者さんにも技術指導等をお願いしているが、その 3 つが中心になると思う。

魚種については確定ではないが、ご承知のとおりうちには養殖事業等がないので、まと

まった魚種が計画どおりに入るといのが、ブレが大きい部分があり、ブリとかヒラスとか時期によっては漁業者が泣きたくないような値段になったりするので、そういったものも使っていきたいと考えているし、先ほど末永委員からも網物をとというような話があったが、はえ縄事業者からもエソ類とかトヘを使ってほしいとか、積極的に話があるので、そういうものを中心に加工ができればと思っている。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） 末永委員も私と同じ意見で「網物を」と言ったと思うのだが、全然売れない品物を売れる品物に変える。そういった技術でやってもらいたいと思うわけなので、一応集落がやるということだが、いろいろな指導をお願いします。

それでそこは終わるが、77 ページの 15 節・工事請負費。ここに浮棧橋の設置工事があるので、これをどこに設置するのか、その時期がわかればそれも尋ねる。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 斑のアワビ種苗センターの前に町の作業船を停めている棧橋があるのはご存知かと思う。夏過ぎだったか、台風でセンターの 3 分の 1 くらいが折れて、今停められない状態になっている。それを新たに更新するための事業費である。時期に関しては未定であるが、先ほどのボランティア活動とか、専門家の水産研究者の調査とかも毎月のようにあっているので、できるだけ早く更新したいと考えている。

委員長（土川重佳） ほかにないか。 末永委員

委員（末永一朗） 77 ページの斑の種苗センターについて伺う。去年も質問したと思うが、エゾアワビについて、まだ商品にはならないのか。職員から順調に育っていると聞いているが、よろしくをお願いします。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） まだ商品にはなっていないが、町内の飲食店に試しに使ってもらいたいということで提供して、一部好反応である。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 時間が押しているが、あと 3 つだけ質問させてほしい。67 ページ、19 節・負担金、補助及び交付金ということで農業費の中である。これも初歩的な質問なのだが、たばこの振興協議会の負担金は 5,000 円と金額が低いのだが、小値賀町で葉たばこをつくっている方はいないような気がするのだが、計上しているのはどういう理由なのか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） これは予算編成のタイミングの問題で、うちの葉たばこ農家さんが辞められるというのを予算編成後に聞いたので、予算はあるが執行の予定はない。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 70 ページに行く。これはたぶん毎年出ているのだが、スマート放牧の管理事業の補助金ということで 30 年度 300 万円。主要事業一覧の 25 番になると思うが、平成 27 年度からの実証事業ということで、27、28、29、来年度で 4 年目なのであるが、

実際これを実証事業でやっているということは、当然その成果に対してどんな状況なのか、いつまでやるのか、そこの話をお願いします。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 委員の言うように 27 年度からの取り組み事業であるが、27 年度は施設整備、実際の実証事業というのは 28 年度からということで、30 年度が 3 年目になる。国の事業上は 30 年度が最終年度になるのだが、これが国庫補助事業で、会計検査の対象事業ということで、県のほうから 5 年間の取り組みを進めてほしいという旨を言われている。

それで状況であるが、今繁殖メス牛が担い手公社に 17 頭おり、そのうち今年の 4 月に卒業する研修生の分が 2 頭ということで、担い手公社が純粋に所有している牛は 15 頭ということになる。そのうち放牧場に 6 頭、牛舎に研修生の分も含めて 11 頭ということで、今のところ放牧場での分娩の実績はないが、今年度 3 頭生まれており、うち分娩時に 1 頭死亡しているが、牛市に出荷した子牛は 6 頭ということで、実績ということではそういうことである。それから放牧場での分娩というのが最終目標になって、それがスムーズになされて、どれくらいのコストになるかというところまで行くのが実証事業だと思うが、予定としてはこの春あつたかくなってから、最初の放牧場での分娩を果たしたいというふうに聞いている。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 僕の中では最後の予定である。78 ページ、非常に細かい話で申し訳ないが、水産業費の中に船瀬海水浴場監視業務委託というのがある。船瀬の海水浴場で泳いでいる人を見たことないのだが、これは必要なのか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（橋本 満） 利用度は低いということで言われたが、県の公安部局に届出をしている海水浴場ということで開設しなければいけない。開設したからにはきちんと管理しなければいけない。そういうことで予算を計上している。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） そうすると県から何かしらの手当というのは出ているのか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（橋本 満） 県からの管理委託金ということで、約 124 万 7,000 円来ている。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 県から来ているということで、県も実態を知らないと思うが、町のお金は使わなくてもやはり僕らの税金と考えると、どこかで見切りつけたいと思うので、その辺、県に実態をちゃんと言って、もう本当に塩工場じゃないが、だめだったら壊すとか、そのくらいどんどんこれから先、ストックマネジメントとか考えた時にそういうのが必要になると思うが、いかがか。

委員長（土川重佳） 町 長

町長（西 浩三） ゼロじゃないわけなので、そこら辺は県とよく相談してみたいと思う。

委員長（土川重佳） ほかにないか。 浦 委員

委員（浦 英明） 79 ページの委託料。たくさんあるのだが、その中で浜津漁港の分が主要事業一覧には砂とかそういうものが堆積して、というような説明があるが、ここを詳しく説明してほしい。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（橋本 満） この委託事業に係る浜津漁港分は、後目の港に砂が堆積して泊地、それから航路に支障をきたしているということで、それを浚渫する工事を 30 年度に計画している。そのためにはその浚渫した土砂の底質調査、33 品目あるのだが、この分析をして工事にかからなければいけないということで、この費用を計上している。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） どのようにして堆積したのか、そこを聞いたかったのだが。例えば砂が台風とか波にあおられて固まるとか。例えば筒井浦でいえば、畑総事業で出た土砂というか、それが流れてきて港の中に溜まる。それが 5 年に 1 回くらいかな、浚渫してもらっている。そこあたりの関係とはまた違うのだろうが、そこをもう少し詳しくお願いします。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（橋本 満） この浜津の後目地区の港は、元々浅い場所を浚渫してつくった港である。だから元々の地形的な条件を考えると砂は戻ってくる。そうした理由で泊地に土砂が堆積した。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） わかったが、極端に言えばそのままにしておけばまた砂が溜まって、また同じようなことを 5 年か 10 年に 1 回しなければいけなくなるのかなと思うが、それはもういい。

それから、15 節の工事請負費。前方漁港高度利用整備工事であるが、これは筒井浦の岸壁に関する車止めなのだが、この工事についての詳しい内容、例えば時期がいつ頃になるのか、いつ頃終わるのか尋ねる。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（橋本 満） 通年の年であれば、国からの交付決定が 6 月ごろに来る。だから順調にいけば 7 月に工事発注したいということで計画している。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） 唐見崎のほうで工事をしていたのだが、工事は大体どのくらいかかるのか。例えば 1 カ月とか、2 カ月とか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（橋本 満） 唐見崎の工事の発注は 9 月にした。車止めというのが特殊なので、制作に 4 カ月ほど時間を要した。その結果、今工事中ということである。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） 筒井浦の工事はどこだったか。出口建設か。その出口建設の方が、私が今の地区会長をしているものだから、うちのほうに来て、こういう工事をしたいというふうに言っていた。それで「大体いつ頃するのか」と言ったら、「すぐするんじゃないかな」と、「今からしても工事は間に合わないと思う」と言ったら、「よくわからない」と言われたので。それはそれでいいのだが、その人がちょっとわからなかったんだろうけど。受益者、この人が受益者と言えるのかどうかかわからないが、筒井浦は余りそこを使わないのである。例えば、端的に言えば薩摩丸が使うので、薩摩丸にそういった話をしてほしいと。困るところが出てくるかもわからないので。と言って話をしたところ、やはり薩摩丸は、例えば岸壁がこうあってこっちが海、これから 50 センチばかり引っ込めてもらわないと、エサをやるから困ると。そういうことを言われたので、できればそういう事業をする場合には、早めに私たちにも会長にも教えてもらえれば、受益者にも連絡をしてもらえればと思ったものだから。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（橋本 満） 浦委員ご指摘のとおり周知が足らなかったことを反省している。平成 30 年度においては、入札して工事業者が決まれば、すぐに連絡をしたいと思う。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

末永委員

委員（末永一朗） 最後に 1 点だけ質問したい。観光ダイビングについて質問をしたいと思う。今年もまた調査ということになっているが、いずれこれは実用化になると思うので、課長はわかっていると思うが、そうすると受入態勢をしないといけないということになれば、各漁業者が許可を取らないといけないということになれば、各支部に行ってやりたい人はいないかというような説明というか、そういうことをしてもらったほうがいいんじゃないかと思う。これもやはりお客さんを連れていく場合には、船長と免許を持った潜水士、それからもう 1 つ、インストラクターか、その 2 人を乗せないと受講できないように聞いている。今の海士仲間の持っている潜るのではだめかと言えば、いやあれのもう 1 つ上を取らないとだめだという話を聞いている。そういう受入態勢を、もうぼちぼち考えていったほうがいいんじゃないかと思う。その辺はどうなのか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 末永委員の言われるように、30 年度はそういう体制づくりについて検討をさらに進めていく時期になろうかと思う。言われるように、実際に導入した場合には、地元の漁船、地元でお金が落ちる仕組みをつくらないと、漁業者の所得向上のためにも取り組む事業であるので、そこは十分考えていきたいと思う。そういったところまで話が詰まってくれば、漁業者に対しても、委員が言われるように説明をしたいと思うし、28 年度から 29 年度にかけてスポット調査を実施しているが、その報告書も大体取りまとまっている。以前も話したように、議会の皆さんにも報告会というか、動画の鑑賞会とか、そういった形ででもお知らせをしたいと思っているので、よろしく願います。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

委員長(土川重佳) 農林水産業費の質疑を終わる。

農業委員会、建設課関係は終了したので退室してもらって結構。

(農業委員会・建設課、退室)

委員長(土川重佳) **第6款・商工費** (P.79~83) 今田委員

委員(今田光弘) 80ページ、雇用機会拡充事業ということで補助金が1,827万円出ているが、この内容を教えてほしい。

委員長(土川重佳) 産業振興課長

産業振興課長(中村慶幸) 内容であるが、実施の希望者が4名、事業の内容は創業が3名、事業拡大が1名である。事業の概要は、雑貨店・カフェをオープンしたいという方が1名、飲食業をオープンしたいという方が1名、ゲストハウスに取り組みたいという方が1名で、それからマリンスポーツに取り組みたいという方が1名である。

委員長(土川重佳) 今田委員

委員(今田光弘) 81ページの地域おこし協力隊の謝礼ということでビジターセンターが2名、29年度と同じように2名ということで計画されているが、昨年の当初予算のときに来年度はアイランドツーリズム協会(以降IT協会と呼ぶ)にという話もちらっとあったのだが、30年度も29年度と同じように地域おこし協力隊にお願いするというのでいいのか。

委員長(土川重佳) 産業振興課長

産業振興課長(中村慶幸) IT協会のほうでもそういう希望はあったが、協議した結果、ビジターセンターに関しては30年度も町直営で実施していきたいと思っている。

委員長(土川重佳) 今田委員

委員(今田光弘) 同じところでその下に、地域おこし協力隊の活動謝礼ということでNPO2名、これは「藤松」の2人だと思うが、2人それぞれ6月と7月で協力隊卒業という予定で、8月いっぱいにはレストラン「藤松」を開けるという話は聞いているが、当然この報償費もそこまでの報償費だと思うが、その後の報償費が入ってないということは、「藤松」に地域おこし協力隊はもう入れないというふうに感じるが、そういうことでいいのか。

委員長(土川重佳) 産業振興課長

産業振興課長(中村慶幸) おっしゃるとおり。現在の協力隊は7月と8月でそれぞれ任期を満了することになる。委員が言われる新たな協力隊であるが、それも含めて協議を重ねているが、今後のことはまだ決まっていない。できるだけ早急に方向性を出したいと思っている。

委員長(土川重佳) 今田委員

委員(今田光弘) 方向性が決まっていないということであれば、基本的にはやはり1年間しっかり予算を組んだほうがいいのかという気がして、逆に切っちゃったということは、もうそこまでという感覚が強いのかなと思った。その辺はいかがなのか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 協力隊に関しては、先ほど言ったように3年間で最大ということで、これがそれぞれ7月、8月に3年間満了してしまうということで、この隊員に関する協力隊としての予算というのは組めないのだからこういう格好になっている。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 3年間で卒業というのはわかるが、その後、新しい人を探すとかそういうことは考えてないのかということである。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 現時点で、新しい隊員を募集するという予定はない。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） そうなると、9月以降の「藤松」については、町の建物だから当然レストランとして続けると思うのだが、その辺の考えは。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 先ほども言ったが、本来急がないといけないのだが、指定管理者のIT協会との協議も含めて、協議はずっと続けているのだが、結論が出ていないというのが現状である。そういった中で、今IT協会のほうでも、先ほど委員が言われたように8月までは、今の隊員をIT協会が雇用を継続して続けるというような方向性までは出ているが、聞くところによると、さらに年度末までという方向でお互いに調整を図っている、と聞いている。今のところ私が知り得ているのはそういう状況である。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 人をもし外から呼ぶとなると、すぐにはなかなか来てくれないと思うので、早目早目になんとか協議を煮詰めてやっていただきたいが、いかがか。

委員長（土川重佳） 町長

町長（西 浩三） 指定管理をしているが、指定管理を現在受けているところが決めてないわけであるので、我々に言われてもなかなか動きづらいところがあるが、言われるように、我々が地域おこし協力隊をまた呼び込んで、あそこに料理をする人を入れるとかいう考えはもうない。後はさっきから言っているように、IT協会がどうするのかというところで、恐らく続けてくれるのではないかと思うが、ただもうここにある謝礼がなくなるわけであるから、IT協会も頭を抱えているところかもしれないが、現実はそのような状況である。なんとか続けてもらいたいという希望は持っている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 関連して、この藤松レストランについて似たような質問になるかと思うが、藤松レストランのコックさんは皆さんご存知の通り、コロコロ変わっている。そして地域おこし協力隊の資金が出ている間は、なんとなく安定して経営している。それが切れるとまた予算の関係でいろんな人を入れて、人件費をどうにか出しているわけなのだが、あれは地産地消の、小値賀町の産物を利用して美味しいものを提供するという基本的な考

えがあったものだ。だから町長の話の話を聞いていると、指定管理で IT 協会に任せていると。それは十分わかる。だからできないなら返せということになると思うのだが、せつかく大きなお金をつぎ込んで、立派な施設をつくっている。都会の人が来ると、あそこで食事をするとみんな感動したりしている。そういった意味において、小値賀の既存の飲食店に迷惑がかからない程度に頑張ろうということをやっているが、ここでそろそろ世界遺産の問題もあるし、島内の観光資源の問題もあるし、そういった意味において、あの立派なレストランを有効活用するために、IT も町も歩み寄って本当にいい対策を考えて、もうちょっと長続きするというか、立派な施設として利用できる状況をみんなで話し合って方向を出してほしいと思うのだが、町長その辺どうお考えか。

委員長（土川重佳） 町 長

町長（西 浩三） さっきも言ったが、私も続けていきたいという気持ちは十分に持っているのだが、うちのほうで人件費をこれからも応援するという事はなかなか難しいことだろうと思う。ただいろいろなやり方もあろうかと思うが、なにせ雇い主になる IT 協会で、あの人たちを幾らで雇うのかというのが決まらなければ、なかなか本人たちも続けるということにはならないだろうと思う。いずれ IT 協会のほうも予算を組むだろうし、潰しちゃいかんよということは重々言っている。だから我々も応援できるところはちゃんと応援していくし、確かにせつかく和食のプロが来てくれているので。ただ個人的に言わせてもらうと少し高すぎるかなという気はするが、実際そこら辺の話もしている。地元の人が使わなければ成り立っていかんと、当たり前じゃないかという話もしているが、そこら辺もなかなか進んでいないが、7月になる前にはちゃんと解決したいと思っている。決して後ろ向きになっているわけではない。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 後ろ向きになっていないということで一応安心したが、とにかく藤松レストランは、庭も立派であるし、ああいう屋敷の中に船着き場が付いているという珍しいお屋敷でもある。ああいうのを観光資源として十分に活かして、そしてそこで小値賀の美味しい魚とか野菜が食べられるといったああいう施設は、私は大事だと思っている。

そこで前向きに町長も考えていることで、私も安心したが、本当に具体的に経営が続けいけるように、補助金のあり方ももうちょっと、やっぱり何かを事業するときバックアップしてくれる資金というのは絶対にいる。だから既存の料亭とか小値賀のレストランが、そういった小値賀町が補助金を出してまで飲食店をやるのはどうかという意見を聞くが、そういう地産地消とか観光面でいけば、少しくらいの小値賀町のバックアップがあってもいいと思っている。その辺ぜひとも前向きに、補助金もダイレクトに藤松レストランに出すのではなく、IT 協会に幾らか補助金を出して、藤松レストランの料理人をバックアップするみたいな感じでしないと、なかなか人材が集まらないと思うので、もうちょっと具体的に町も協力してほしいと思う。今後ともそういう方向で、よろしく願います。

委員長（土川重佳） 松屋委員

委員（松屋治郎） それに関連してというか、観光窓口の業務委託料が昨年と一緒である。世界遺産登録になった場合、かなり繁忙な状況であろうし、今みたいに「藤松」みたいなところが継続できないというような問題も考えたときに、IT 協会の安定化ということも少し考えた上で、この窓口業務の費用をアップする考えはないのか。

委員長（土川重佳） 町 長

町長（西 浩三） 去年と同じだということで発言があったが、実は 500 万の要求だったが、私が査定で切っている。そういうことで事情を説明したいと思うのだが、実は窓口業務といっても、自分たちの営業に使っている時間帯もひっくるめて、当然人を雇っているはずなので、「2 割くらいは自分で出してくださいよ」ということで、そうしないとほかのところとの釣り合いも取れないということで、私のほうが査定で切ったものだから、あえて釈明をさせてもらうが、いろいろな考えがあると思う。

それともう 1 つ、NPO のほうで剰余金を持っている。そういうことで、さっきの給与にしても一緒なのだが、もう少し経営のやり方を考えてもらいたいなと思うこともあり、あえて切らしてもらっている。それでピンチになったら、NPO だから助けに行かないといかんということは十分にわかっているのだから、この件についてはご理解をいただきたいと思う。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） ビジターセンターのことでお聞きしたい。先ほど今田委員のお話で、直営はあと 1 年、30 年度もやっていくということであった。それはそれでいいのだが、業務の内容としてあそこは非常に不評な声が聞こえる。その業務の内容については、ちょっと変える必要があるのではなかろうかと思うのだが、例えば 3 時に来て次の日の 3 時に帰るというような 24 時間体制で回るような体制はできないのか伺う。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） まず 24 時間体制ということであるが、それは考えていない。所要の予算も取っていない。ただ、先日の一般質問にもあったが、今後、野崎で活動する方を増やしていく取り組みをする中で、当然ビジターセンターの協力隊も、そのつくり込みとか、活動そのものに一緒になって取り組んでいてもらいたいと思っているし、それからその中で夜間のプログラムとかができた場合、夜活動してもらわなければいけないので、そういったときには泊まってもらうこともあるということで、話はしている。だから周年、今コンビニも 24 時間をやめるとかあるが、24 時間体制ということで受け入れを拡充するということは考えてはいないが、夜の活動とかいうことは念頭に置いている。

それからその最初に言われた不評だということであるが、私も直接見たり、間接的に聞いたりしている。そういったときには、呼んで話をして注意もしている。今回ビジターセンターと神官屋敷は、引き続き協力隊が中心となって管理をしていくが、旧野首教会に関しては、先日教育長からもあったように、IT 協会が管理をしたほうが、観光客の利便性も高まるし、ビジターセンター職員が野首まで行き来する時間的負担もなくなるので、その分圧縮された時間を使って、きちんと注意喚起とか歴史文化の説明とかが、ビジターセ

ンターで今よりも充実していくように、津田堅之介さんの力も借りながら進めていきたいと思っているので、ご理解を願う。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 気持ちは十分にわかるのだが、今年、確実に世界遺産登録になる。そして小値賀町の観光の目玉があそこになるのだが、その目玉の起点が地域おこし協力隊の2名でいいのかなという懸念もある。私とすればどちらかといえば、地域おこし協力隊もIT協会に入れて、そこを回したらいいのかなという気はするのだが、そういった考えはないのか、伺う。

委員長（土川重佳） 町長

町長（西 浩三） もうまったく同感である。それをやろうとしたができなかった。そういうことで表現は悪いが、仕方なしという感じでやっている。でもこれは30年度だけである。31年度には絶対変える。そうしないともう、言われるとおりになるので。ただ30年度は契約が残っていたというのもある。それと、当然人がいればそこにふさわしい人をやるべきだと思うので、我々も一生懸命人を探しているし、IT協会も人を増やすという約束になっているので、増やしたときにやれるようであれば、入れ替えるとかそういうことも考えるが、現在では今のあの2人がIT協会に入ることを拒んでいる。そういうことで話が先に進まないの、とりあえずこれでやってみて、不都合が出たらすぐ対処したいと思う。

委員長（土川重佳） 松屋委員

委員（松屋治郎） ちょっとくどいようだが、ビジターセンターというのは、あそこが世界遺産になった場合、案内する人は小値賀観光の顔になるというかそういうふうなことで、不向きな方がおるということで大分不評を買ったことがある。だから人選には特に注意しないと、せっかくのこのブームがだめだということになるので、その点もよろしく願います。

委員長（土川重佳） 町長

町長（西 浩三） 言われることも重々わかるので、気を付けて対応させていただく。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） ビジターセンターに関しては一般質問でも余り触れなかったのだが、皆さんの意見が出ているので、ついでに私もこのビジターセンターの件について一言言いたい。1回、産業建設常任委員会で視察に行ったのだが、その時にたぶん担当者との話の中で、ビジターセンターの人は沖ノ神島神社とか舟森まで実際歩いて行って、その状況をちゃんと把握しているのかという話のときに、たぶん行ってないという話であった。2人とも。

やむを得ない事情で、今の人を人材がないということで仕方なく置いているが、最低今年中に世界遺産になった場合に、観光客が訪れたときの最初のイメージは大切だと思う。はっきり言って何もわからない人が、遠くから訪ねてきた観光客に接したときに、たぶん満足度は低いんじゃないかと思う。そういった意味において、向いてない2人かもしれないけど、最低限の教育はやはり担当課の責任だと思う。そういったところの指導はちゃん

とやってほしいと思う。服装から言葉遣いから、全てにおいていろんな噂は聞いている。私が見分したわけじゃないのでいろいろ言えないが、そういった噂が立っているということはそういう実情だと思うので、しっかり担当の方は教育をしてもらって、世界遺産の観光客、訪れる人にしっかり対応してほしいと思う。そして、なぜこれを私が時々思うかというと、以前視察に行った宗像の世界遺産候補、まだなっていないときに行った。その説明を聞くときに、こういう話があった。ちょっとした対応の仕方とかミスで、今はすぐバツと広がるそうである。行ったところの観光地の対応とか、施設のあり方とか、いろんなものがすぐ観光客にバツと伝わるのだそうだ。それによって来る方がどういう感じに来るかというのが変わってくるので、非常にそういうところに神経を使っているということであった。小値賀町も鍵を閉めて昼寝をしているような管理人を優しく看過するのではなく、担当者が責任をもってしっかりと教育してほしいと思うのだが、その辺、課長はどう思うか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） そこまで委員が言われるので申し上げるが、その当該隊員に関しては一応処分をしている。文書での嚴重注意ということで。誓約も取っている。1度、2度とそういうことがあると、言われるように今は口コミや電話の時代ではないので、SNSで一気に入りに写真付き動画付きで拡散してしまうので、そういったことには十分注意をしたいと思うし、新年度また新たに町長から委嘱状の交付があるので、その時にもしっかりと伝えて、身だしなみや、野崎の勉強も含めてしっかりとするように改めて伝えていきたい。

委員長（土川重佳） ほかにないか。観光費。 横山委員

委員（横山弘藏） 1項・商工費の19節・負担金、補助及び交付金のところであるが、五島列島おもてなし協議会負担金 735 万円。これは説明書きにも触れられているが、私にはこの活動がよく見えないのだが、パンフレットとかは目にするが、具体的にこの金額に合う活動状況というのはどういうものか、県からも 500 万以上のあれが出ているが、どういう活動を主にやっているのか説明をお願いします。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） この五島列島おもてなし協議会は、27 年度に五島列島への、基本的には主に個人客を周遊させるために、五島列島全体で観光の受入体制を進めていこうという趣旨で設立されている。小値賀町は 1 年遅れて 28 年度から参加している。29 年度に関して動きが見えないということだが、事業の中身としては、先日もお話したかもしれないが、今星空ツアーのガイドの育成を実施しており、石垣島から星空ツーリズムという、星空のガイドの専門事業を行っている方を講師にお迎えして 5、6 回研修会を実施しているし、野崎のキリシタンガイドの研修会も、うちの教育委員会の平田学芸員を講師に 3 回ほど開催している。先日は五島市、新上五島町からガイドの皆さん、小値賀町のガイドの会も参加して、ちょうどこの場で 40 人から 50 人くらい、研修会に集まっていたら、おもてなしの研修会等々を実施している。実際の動きとしては、先日、浦委員の質問にも

あったが、キリシタン物語の実施とか、港のターミナルでドコモバイクシェアといって、GPS機能が付いていて、それを借りた方が小値賀町内でどういうところを巡ったのかとか、そういった情報が得られるような機能の付いたレンタサイクルの導入とか、そういった形で事業を実施している。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 商工費、質疑を終了する。

しばらく休憩する。

— 休 憩 午 後 4 時 09 分 —

— 再 開 午 後 4 時 14 分 —

委員長（土川重佳） 再開する。

第9款・教育費（P.89～108）

今田委員

委員（今田光弘） 3つばかり質問させてほしい。

100ページ、工事請負費の中に会議室反響対策工事というのがあるが、これの内容を説明してほしい。

委員長（土川重佳） 教育次長

教育次長（尾崎孝三） 総合センターの2階中央会議室と西側会議室の室内の防音というか、講習会などをしているが反響があり、なかなか聞き取りづらいということで、中の壁に吸音のボードを張って、反響を防ごうという工事である。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） よくわかった。その下に備品購入費でCDプレーヤー購入費というのがあり、細かい話であるが、6万5,000円という金額が上がっているののだが、これは1台か。

委員長（土川重佳） 教育次長

教育次長（尾崎孝三） 1台である。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 僕はこの金額を見て、もしかして1台かと思ってネットでもいろいろ調べたのだが、今CDプレーヤーで6万5,000円というのは、えらい高い金額でちょっと驚いたのだが、これはどういうレベルのものを考えているのか。

委員長（土川重佳） 教育次長

教育次長（尾崎孝三） この備品については、総合センターの放送室で使うための備品で、放送施設の中の重要なところの入れ替えである。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） よくわかった。もう1つ最後に。102ページになるが、委託料の中に旧小田家住宅保存修復計画というのがあるが、僕の中では旧小田家と聞くと歴史民俗資料

館のことなのだが、これはどこのことか。

委員長（土川重佳） 教育次長

教育次長（尾崎孝三） 旧小田家というのは、歴史民俗資料館、RC 造の建物があると思う。その西側に、平屋の瓦葺きの建物があると思う。そこが旧小田家ということである。

委員長（土川重佳） 松屋委員

委員（松屋治郎） 96 ページの 19 節・負担金、補助及び交付金。野外研修とか、部活とかいろいろあるのだが、この中に修学旅行がないみたいなのだが、その考えはないのか。修学旅行は年に十何人ずつしかないので無償化ということも含めて考えはないか。

委員長（土川重佳） 教育次長

教育次長（尾崎孝三） 修学旅行については、子供たちの研修ということで、学校の教育の一環だと思うが、個人で積み立てもしているし、必要とあれば検討しなければならないかなと思うが、そういう答えでご理解をお願いする。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 今の松屋委員さんの質問に関連するが、今生徒数が減っている。大体 1 学年 20 名いるかいらないか。それでこの件については、以前、校長先生と 1 回話をしたことがある。そしたら今次長が言ったように積み立てをしているとかっていう話もあるが、やはり子供の多い家族では負担になっている父兄もいるそうだ。それで全額とは言わないが、何割か、少しでも子供の研修費として見てもらえれば助かる父兄もいるという話をした。これは今の小値賀町の、子供を大事にする教育に関してしっかり対応するとすれば、昔ならばちょっと贅沢な話であるが、何百人もいた頃にすれば、もう十何人だから、仮に 1 人に 5,000 円、1 万円ほどしても 20 万円以内で終わるわけである。

だからこういったものは、父兄は非常に助かると思うので、この予算には入っていないが、少し検討してほしいと思うが、教育長どうか。

委員長（土川重佳） 教育長

教育長（吉元勝信） 確かに中学校の校長から、生徒数が年々減っていくので 1 人当たりの単価が高くなるというような話は聞いている。それで今までの 1 人当たりの平均、そういったものを調べながら、それを大幅に超えるというようなことがあれば、町としても、その分の補助といったものも検討する必要があるかなというふうに考えている。

特に委員さんが言われたように、例えば小学校と中学校と一緒に修学旅行に行くというような家庭もあるので、やはりそういう部分で、今後検討させていただきたいというふうに思う。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 予算が付くことなので、これには教育に熱心な町長はどうお考えか、一言お願いする。

委員長（土川重佳） 町長

町長（西 浩三） 言われてみて、なるほどなと思ったので、とりあえず予算は後で組む

ことにしてでも、部活動の遠征費等もあるので、そこら辺で節約するということでやっていただいて、足りなくなれば補正をお願いしようかなと今思ったところである。本当に適切なご指摘かなと思ひ、我々も気づかなかつた。ありがとう。

委員長（土川重佳） ほかにないか。教育費。 宮崎委員

委員（宮崎良保） 主要事業一覧表の中に、野崎島潜伏キリシタン関連遺産構成要素図面作成業務ということで、459万計上されているが、内容の説明をお願いする。

委員長（土川重佳） 教育次長

教育次長（尾崎孝三） 野崎島に残された潜伏キリシタンの関連遺産がある。それに関して詳細図の図面を作成し、将来的な保存・活用に努めるという目的で上げている。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） わかつた。せつかく作成するのであれば、有効活用する関連で、なんかこうチラシにできるような考へはないのか、伺う。

委員長（土川重佳） 教育次長

教育次長（尾崎孝三） 構成資産の要素の図面であり、それを観光のほうに利用できるか、利用できる形で加工できれば大いに利用していいと思う。そういうところで今後検討していきたい。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 教育費の質疑を終わる。

しばらく休憩する。

— 休 憩 午 後 4 時 25 分 —
— 再 開 午 後 4 時 29 分 —

委員長（土川重佳） 再開する。

ただいままでの一般会計歳入、歳出全般についてご質疑願う。 宮崎委員

委員（宮崎良保） 誰もいないようなので、代表して言いたいと思う。消防関係なのだが、今年斑地区に耐震型の防火用水をつくるということで決定した。昨日町長の施政方針演説でも耐震型にほかの防火用水も切り替えるというような話もあつたのだが、その辺の予算が今年はないのだが、今後どのように考へているのか。浜津に、今田委員の自宅後ろの辺りと、浜津の後目のほうにある。結構まだぼちぼちとあるので、そういった防火用水の地下埋設型も考へていかないといけないと思うが、どうお考へか。

委員長（土川重佳） 町 長

町長（西 浩三） 防火用水をつくり変えるという計画は、私は言つた記憶はないのだが、それは何でかと言つたら、補助基準があつて、つくり変えるのは非常に難しいのである。今あるところを壊してつくり変えるというときは、やはり漏水が酷いとかなんとかそういう理由がなければできないし、新設する場合は距離がある。防火水槽から防火水槽までの。

そういうことで、斑はたまたま繰り上げしていると思うが。

だから今の蓋が被っていないところの蓋をかけるというときには、やはり年次計画を立てて、前の報告書あたりから、漏水が酷いとかそういうことで使えないとかいうような報告を出しといて、それから補助申請をするということになろうかと思う。だから言ったつもりはない。でもご質問であるから、やはり今言ったように計画を立てて、蓋をかけるのと新しくつくるのは、新しくつくるほうが、緊急性があると思うので。まあめったになかった。新設も毎年は出てきていないので。そこら辺、間を埋めながらという方法もあろうかと思うので、検討させていただく。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 今私が調べたところによると結構あるのだが、防火用水に入る危険はないのだが、周りを鉄条網で囲んでいる。各分団の責任で囲んでいるという話なのだが、その鉄条網がほぼ錆び垂れて、どうしようもない状態のところがある。なので、早急に計画を立ててほしいと思う。以上。

委員長（土川重佳） 町 長

町長（西 浩三） 30年度で対応する。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 質疑なしと認める。

次に第2表、『地方債』の質疑を行う。7ページ。

質疑はないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 質疑なしと認める。

これで議案第24号、平成30年度小値賀町一般会計予算の質疑を終わる。

討論と採決は月曜日の特別会計の質疑の後で、付託された案件全てについて行いたいと思う。

月曜日は午前10時から会議する。

7つの特別会計予算の質疑を行う。

執行部の皆様、お疲れさまでした。

本日はこれにて散会する。お疲れさまでした。

— 午 後 4 時 35 分 散 会 —